大阪消防

OSAKA SHOBO

令和元年
12月号
No.837

団体割引適用で割安！
※❸を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会　職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者のための保険

❶ 消防職員医療保険

団体割引適用 30%

医療保険基本特約・疾病保険特約
・傷害保険特約セット　団体総合保険

募集時期■7月～8月　2月～3月　2月～4月（新採用プラン）

❷ 消防職員傷害保険

団体割引適用 30%

総合補償特約セット
普通傷害保険・家庭傷害保険

募集時期■7月～8月　2月～3月　2月～4月（新採用プラン）

❸ 消防職員賠償責任保険

救命救急士の専門業務も補償！

年間保険料 3,200円

公務員賠償責任保険（消防職員危険担保特約条項、初期対応費用担保特約条項、保険料支払に関する特約条項）

募集時期■12月～2月 7月～8月

❹ 消防職員がん保険

団体総合生活保険（がん補償）

募集時期■12月～2月

団体割引 20%

❺ 消防職員介護保険

団体総合生活保険（介護補償）

募集時期■12月～2月

団体割引 20%

❻ 消防退職者医療保険

団体総合生活保険（医療補償）

募集時期■12月～2月

団体割引・損害率による割引適用 約40%

こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社

一般財団法人 全国消防協会
損害保険取扱代理店

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 5階　TEL.03-3234-1331（代）

引受保険会社　・損害保険ジャパン日本興亜株式会社・東京海上日動火災保険株式会社

SJNK18-11548（2018/12/10）
18-TC02060（2018 年 12 月作成）

KOTONOHA

ことのは

天王寺公衆集合場防火協議会会長
天王寺区防火協力会副会長
株式会社近鉄百貨店　常務執行役員　上本町店長

上田　尚義

新しいタイプの百貨店を目指して

百貨店業界を取り巻く環境は、ＥＣやショッピングセンターとの競合などもあり厳しい状況にありますが、大阪市内においては、訪日外国人観光客の利用増もあり大いに賑わっております。今後、万博やＩＲなどもあり益々活況を呈することと思います。

そのような中、上本町周辺においてはタワーマンションの増加により、従来百貨店を利用していただいていたお客様より若い方々が増えております。そのようなお客様のニーズに合わせるため、上本町店では、ここ４年程の間に子供服、スポーツ、家電、リビング家具、ドラッグストアなどの専門店を従来の発想から転換して導入してきました。

上本町は、上町台地のど真ん中にあり四天王寺をはじめ昔から神社仏閣も多く、大阪の文化の中心地でもありました。そのような背景もあり非常にモノに対して感度の高い、文化度の高いお客様が多くおられました。そこに今新たにいろんな地域から比較的所得水準の高いお客様が移り住まれ、大阪市内でも有数の高級住宅街になりつつあります。

そのような中、上本町店ではさらにお客様のニーズに応えるため、服飾関係の売場においても従来の、「婦人服」「婦人洋品」「紳士服」といったカテゴリーで分類するような売場づくりではなく、服飾、雑貨、飲食（カフェ）などが融合した売場作りを目指していきたいと考えております。地元の人がくつろげて、それでショッピングもでき、イベントなどもあり人々が交流でき、食料品売場においては鮮度の高い旬の食材が買えるような、地元の人から見て敷居も高くなく、でも上質でちょっとおしゃれな百貨店になれないかと思っています。

キタ、ミナミに大型の都市型百貨店があり、あべのには我が近鉄百貨店ハルカス本店がある中、地域に愛され存在感を出していくためには、都市型でありながら地域密着でかつ上質な百貨店になっていかないといけないと思っております。地元の皆様のご意見に耳を傾け、地元の方々に応援してもらえる新しいタイプの百貨店を上本町店は目指していきます。

令和元年 秋の火災予防運動 オープニングイベント

11月９日
天王寺動物園
（天王寺区）

11月９日（土）、天王寺動物園において、秋の火災予防運動オープニングイベントを開催しました。
同園のホッキョクグマ「ゴーゴ」くんが１日消防署長に任命され、啓発パレードで多くの来場者の方々に火災予防を呼び掛けました。

令和元年度　消防救助技術練成会

10月23日、24日
高度専門教育訓練センター

CONTENTS

December 2019
No.837

大阪消防 12

表紙：通天閣（新世界界隈）／編集部

01 ことのは　新しいタイプの百貨店を目指して　上田　尚義

02 グラビア　令和元年　秋の火災予防運動　オープニングイベント　編　集　部

03 グラビア　令和元年度　消防救助技術練成会　編　集　部

04 コンテンツ　編　集　部

05 救急安心センターおおさかだより　救　急　課

05 災害概況　警　防　課

06 **いらっしゃい、大阪消防です！** 宮川　真一さんを訪ねて　編　集　部

09 **ニュースカプセル** “黒い呪術師”の心　藤井英一 イラスト・山田いつか

10 “プロ”消防士の条件　リカバリーテクニックで、コンディションを保つ。　福田　悟志

12 レスキューナースからのメッセージ（45）　計算式だけでは想定できない災害が…　辻　直美

13 大阪市防火管理協会からのお知らせ　編　集　部

14 コマンドアイ　他の警防活動に優先して…　南方面隊

16 調査鑑識　令和元年度　大阪市火災調査事例発表会（2）　調査鑑識

18 レスキューボイスⅡ　～木造火災における救助隊・消火隊の連携～（№17）　警　防　課

20 令和の新戦力!!　大阪府立消防学校　第107回初任教育　大阪府立消防学校

25 楽楽大阪弁万葉講座　（第十一回）焼けぼっくいに　火が点くか　中村　博

26 自衛消防隊紹介　港　区

26 女性防火クラブだより　都　島　区

27 環状線　各　所　属

34 大阪の消防NEWS　大東四條畷・和泉市・松原市・島本町各消防本部

36 職務1　令和元年度　JICA救急救助技術研修について　警　防　課

38 職務2　予防部めぐり　安全安心な祭りを開催するために　予　防　課

40 職務3　大阪市火災予防条例の解説（69）　規　制　課

42 キセイカナビ　危険物保安監督者について～昇任試験対策編～　規　制　課

43 大阪市消防局災害活動支援隊　窪田　宜邦　総務課・警防課

44 健康ダイアリー　シリーズ～がん～ Vol. 3 「肺がん」　人　事　課

45 親睦会だより　クラブ紹介　綱引きクラブ　大阪市消防職員親睦会

46 大阪めぐり（表紙）・編集室　編　集　部

47 年間索引　編　集　部

\#7119/ 救急安心センターおおさかだより

今年も残すところあと１カ月となりました。この時季は寒さも一段と厳しくなり、空気が乾燥して、感染性胃腸炎やインフルエンザが流行します。特に年末年始の休日期間中は、大半の医療機関が休診になることから、救急安心センターおおさかへの着信件数は、平日１日あたりの着信件数の約４倍にあたる 2,000 件を超える日もあります。このため、年末年始は増員体制で臨んでいますが、電話をかけるタイミングによっては繋がりにくくなることがあります。救急安心センターの広報の際には年末年始を控えて、休日診療所や救急病院など、お近くの診療体制を事前に確認しておき、体調に少しでも異変を感じたら早めの受診を心掛けることも加えて広報をお願いします。

また、15 歳未満のお子さんの場合は、小児救急支援アプリから緊急性の判断や、症状に応じた医療機関を検索することもできますので、「もしも」の時に備えて役立つツールとして広報してください。

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
10月中合計	2	2	7	24	35	4	1	0	9	49
令和元年10月末累計	14	16	134	291	455	46	1	0	102	604
平成30年10月末累計	11	23	120	294	448	44	1	5	110	608
累計比較	3	▲ 7	14	▲ 3	7	2	0	▲ 5	▲ 8	▲ 4

◎救急概況

	救急出場
10月件数（概数）	19,637
令和元年10月末累計	203,483
平成30年10月末累計	202,128
累計比較	1,355

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
令和元年10月末累計	2,853	1,042	2	1,013
平成30年10月末累計	2,971	5,042	2	1,789
累計比較	▲ 118	▲ 4,000	0	▲ 776

いらっしゃい、大阪消防です！

篠田　初さんからのご紹介
『　宮川　真一さんを訪ねて　』

真葛窯
宮川　真一さん

真葛焼、宮川家の歴史

宮川家、真葛焼の歴史は祐閑宮川小兵衛政一（こへいまさかず）が、貞享年間（1684～1687）に近江国坂田郡宮川村（現滋賀県長浜市宮司町）より京都に出て、知恩院門前に居を構え、陶料を商いとした事に始まります。その後、私の直接の先祖になる兄治兵衛と弟長兵衛に分かれ、「楽屋」という屋号の焼継所を経営していました。当時は陶器が高価であったので、欠けた陶磁器は修復して使っていました。その折、漆で接着するよりも安価にできる焼継（釉薬で接着する技法）の需要があり、治兵衛の息子が五条坂（若宮八幡宮近く）に転居して手広く商っていたと伝わっています。「楽屋」と名乗ったのは、当時は高火度焼成の登窯は大都市の京都には少なく、低火度焼成の楽焼の技法が主流で、その技術を用いて焼継をしていた為です。

その後分家の弟長兵衛家に祐閑から数えて四代目に長造という名工が生まれました。長造は青木木米に師事し陶器全般を習い、今の円山公園の南に位置するところに長造が窯を開きました。この円山公園一帯の地が当時は「真葛（まくず）ヶ原」と呼ばれていたことから観勝寺安井門跡から「真葛」という号を授かり真葛焼を始めました。

長造には4人の息子がいましたが、長男の長平が早逝し四男の虎之助が家を継ぎ、真葛初代宮川香山と名乗り、薩摩藩士小松帯刀や肥前藩士大隈重信など明治新政府の後ろ盾のもと、明治3年横浜の地に移住し、開窯しました。初代香山は貿易港だった横浜の地の利から海外輸出を手掛け、明治9年フィラデルフィア万博を皮きりに、明治後半まで数多く出品して数多くの賞を受賞し、明治29年に陶芸界では二人目となる帝室技芸員に任命されました。1900年（明治33年）パリ万博で金賞受賞。国内では東京国立博物館他、海外でも大英博物館、ボストン美術館他、世界各地の美術館にも所蔵されていまして、現代でも海外では「MAKUZU Ware（マクズウェア）」として高く評価されています。

しかし、三代香山が昭和20年横浜空襲で戦災死し、弟が四代香山を継承するも、昭和34年、四代の死去とともに横浜の真葛の歴史は幕を閉じました。

一方我々の直接の先祖である兄治兵衛の家筋でも嘉永年間の初め（1840年代後半）に祐閑から数えて五代目が赤鰯（せっこん）香齋（初代香齋）

プロフィール

1977年（昭和52年）	京都市生れ
2000～2001年	アメリカミシガン大学美術学部留学
2002年	京都精華大学陶芸専攻卒業
2003年	京都市産業技術研究所陶磁器コース修了
2004年	京都府陶工高等技術専門校卒業
2005年	萩焼窯元で修業 真葛窯に戻る
2013年	「Re:fine」うめだ阪急　美術画廊（大阪）
2016年	Leach pottery にて制作 （イギリス セントアイブス） 「Traditional Pottery of Kyoto：Miyagawa's Makuzu ceramics」 大和ファンデーション（ロンドン） 「Maison Makuzu céramique de Kyoto」 Mizen Fine gallery（パリ）
2018年	「京都伝統陶芸作家協会展」 白沙村荘（京都）
2019年	「UTSUSHI」　三越銀座店（東京）

を名乗り、本格的に京焼を始めました。作陶を始めた理由は京都でも登窯が作られ陶磁器が大量に生産されるようになり、従来の焼継の需要が少なくなった事が原因でした。

初代香齋は京都守護職の会津藩主松平容保公の御前で轆轤の技術を披露して「十水五石」の印、葵御紋の羽織、脇差他を拝領しました。この「十水五石」の印は、現在でも作品の箱書きや包み布に使用しています。

二代善翁香齋は、真葛ヶ原の宮川長造のもとに仕事見習いに入り、虎之助（初代香山）ら長造の子供と共に、長造窯の手伝いをしていました。長造が亡くなると戻って初代香齋のもとで家業に従事しました。当時は五条坂に香齋家の登り窯があり、大燭台や煎茶道具等など多様な作品を制作していました。

その次男であり私の曽祖父でもある四代永誉香齋は、昭和５年に帝展（現日展）に初入選しました。昭和９年、長造の子孫である横浜に移った真葛宮川香山が工芸品の制作に重点を置いていたところから、父である二代善翁香齋と宮川長造との家続き仕事続きの関係から長造の作品系列を京都で受け継ぐように皆さんに勧められ、真葛宮川香齋を名乗り、本格的に茶道具を作る様になりました。

横浜の真葛宮川香山家とも長らく技術交流などの行き来もあり、四代香山も若かりし頃、四代香齋の下に一時仕事見習いに来ていました。四代香齋は香山家が空襲に遭った折には、轆轤や窯道具や土を送り復興の手助けをしたそうです。

昭和39年（１９６４年）に五条バイパス開通に際して、東山五条より現在の東山五条下る（馬町）に転居して、茶室「龍吟」、「尚古軒」を作りました。

その後祖父が五代を継ぎ、今は父が真葛六代宮川香齋として窯の経営に当たっています。

作陶をめざして

私は子どもの頃から、此処で育ちましたので自然に京都精華大学陶芸専攻に入学して、本格的に陶器に触れました。現役の陶芸作家に手解きを頂き、陶磁器の基礎的な事と共に作家の心得を習得しました。大学卒業後、京都市産業技術研究所に一年、京都府立陶工高等技術専門校に一年、さらに萩焼の窯元で一年間修業をさせて貰って、実家の真葛窯に戻りました。

父六代香齋の元で仕事を始めて、今年で十四年目になります。

先祖の蓄積を踏まえて

３３０年の宮川家また真葛窯の歴史を辿れば、凡そ１００年に一度の転換期があると思うのです。最初の１００年は、「楽屋」という名前で焼継所を営んでいました。

次の約１００年は、赤鱓香齋（初代香齋）、また長造が出てきて本格的に京焼を始めました。前述の通り京都でも登窯が作られ陶磁器が大量に生産されるようになった事で、焼継の需要がなくなったからです。そして、当時人気だった煎茶の道具や、輸出を意識した海外向けの手の込んだ作品を手掛けました。横浜の香山だけでなく。初代香齋も輸出向けの作品を作っていて、スコットランド博物館には多く所蔵され常設展示されています。

そしてこの１００年は、抹茶の道具、茶道具を中心に作品を作っています。それは戦争で海外の輸出が途絶え、また敗戦後の復興によって国内に陶磁器の需要が一気に増したからです。しかし現状、茶道を嗜まれている人口が激減しています。ここで次の１００年に向けての展開を考えなければ生き残れないと思っております。

この様に時代時代に先祖がどのような事をしてきたか、また陶磁器がどのような変遷を辿ってきたかを考えて、難しい事ですが今の時代に何を作るか。先祖の蓄積を踏まえて、時代に併せた作品つくりを目指しています。

作品創り

我々真葛窯は仁清写しや乾山写しの上絵付、染付や鉄絵などの下絵、また交趾や祥瑞、金襴手まで、京焼の伝統技法をほぼ全て受け継いでいます。

その中で一番の特徴は「ワラ灰釉」を用いることです。この

（左側）真一作・（右側）六代香齋作

釉薬は何度も話に出てきています真葛窯の祖、宮川長造から200年以上受け継いできているものです。鰻屋のタレみたいなもので（笑）、長造以来継ぎ足し続けて使ってきています。ワラ灰は稲藁に水をかけながら燃やして炭のような黒い灰を作り、木灰や長石と混ぜて作ります。真っ黒な釉薬ですが、焼き上がると柔らかい青みのある乳白色になります。

藁と言っても、田んぼ毎に鉄分の含有率が全然違いますので、新たに作る時は何度もテストをして間違いない同じ雰囲気の釉薬と分かってから従来の物に混ぜます。この釉薬は上絵や下絵との相性も良く、真葛窯独自の色味と人気を博しております。

このワラ灰釉を中心に、雅なもの、京都らしいものが出来たらと思っています。一言でどのような物かは言いにくいですが、そこはかとなく京都の香りが感じて頂けるものであったらなと思っています。

新たな展開と課題

次の100年に向けての真葛窯の方向を考えたとき、やはり再び海外を意識して、海外に向けての発信と展開だと思っております。

ただ今、新たに今まで誰も作っていないような盃の制作中です。海外の方が日本酒をワイングラスではなく、陶器で飲んでもらう為にはどの様な形にすればよいかを試行錯誤し、一つの形状に辿りつきました。今後は色んな絵付けを施し、国内外に発表していきます。

来年はパリで真葛焼を用いた茶懐石のイベントをします。真葛窯が中心となり、10社以上の京都の茶懐石に纏わる老舗食品メーカーの商品、また美術工芸作家の作品を用います。現状の美術工芸作品が展示されているだけの展覧会では本来の作品、商品がもつ魅力を伝える事に限りがあるのではと思っています。これは茶懐石を通じて、実際にその作品に手を触れて食事する事で、器の使用を実体験できます。さらに言えば茶懐石を通じて、日本文化の深淵にリアリティーを持って触れることが出来ます。こういった試みは今までにはなく、画期的なことと私は思います。

私は現在、作陶だけでなくデザインや販売や企画そして経営など、真葛のブランドをディレクタしつつ、自身の個展を2～3年に1回くらいのペースで行っています。

40代に入り伝統の重さをひしひしと感じています。自分の代で潰すわけにはいかないですから、残していく事の大変さを感じています。

職人さんが高齢化していますので、次の時代の職人さんを育てていかなければいけないのも課題のひとつです。

我々の陶器の仕事には枠があります。技術的な事もそうですし、ブランドイメージを保つためにも、出来る事と出来ない事があります。ただその枠に縛られているとは思わず、その枠の中で新たな試み、新たな展開ができたらと思っています。

令和に入り新たな時代となり、大変な事も多々ありますが、前向きにちょっとずつ七代目となる私の色を出していきたいと思っています。

ニュース・カプセル

コラムで、現代の世相を斬る！

コラムニスト藤井氏によるニュース解説と、
その背景にうごめく時代の渦を照らします。

第68回

“黒い呪術師”の心

◎コラムニスト　藤井　英一

NHK「ブッチャーがやってきた！」

アブドーラ・ザ・ブッチャーさんをご存じだろうか。今年2月に引退した知る人ぞ知るカナダ生まれのプロレスラーだ。〝黒い呪術師〟の異名。日本リングでは50年近く悪役として君臨。凶器攻撃による流血試合を演じ続け、テレビのプロレス視聴率を20％にはねあげたとの伝説が残る。

引退セレモニーを終えた後の今年3月26日、NHKがBSプレミアム「アナザーストーリー・ブッチャーがやってきた！」を放送した。衝撃的な数々の試合映像、本人の密着取材、関係レスラーらへのインタビューなどを駆使。なぜダーティーヒーローを演じるブッチャーさんが、かくも日本人に愛されたかに迫る1時間のドキュメント。反響が大きかったのか、7月にも再放送された。

会場一変、一本のフォーク

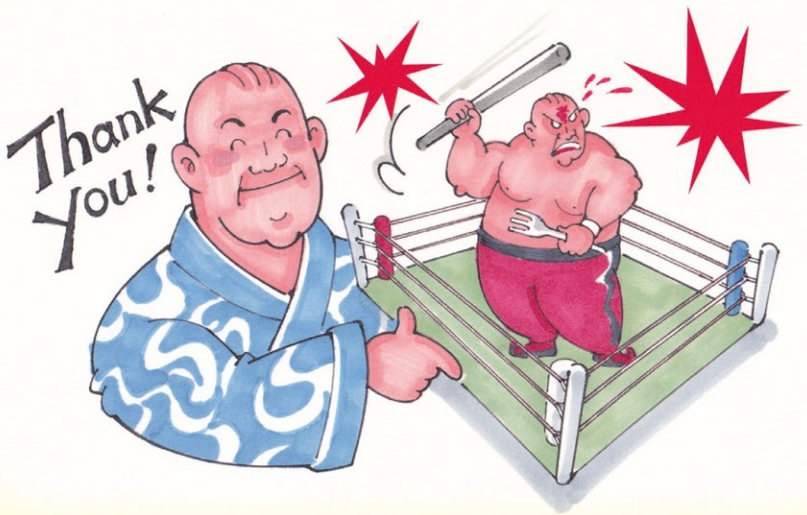
本名ラリー・シュリーブ。1941年生まれ。17歳でプロレス入りし、本場アメリカで腕を磨く。1970年に初来日。デビュー戦では地獄突きと頭突き。レフリーの目を盗んでの金属棒による凶器攻撃。流血すると、素早い動きでケタ外れの場外乱闘を演じた。非難の嵐と対戦相手への声援。観客の絶叫に、ブッチャーさんは強い手応えを実感した。以降、凶器攻撃による流血試合が彼の代名詞となった。

1977年12月15日の世界オープンタッグ選手権。ブッチャー組がドリーとテリーのファンク兄弟と対戦。新たに登場した凶器がフォーク。弟の右腕をめった刺しし流血。助けに入る兄も刺される。観客の悲鳴と兄弟愛への声援が会場に反響。一本のフォークが試合のボルテージを一気に上げ、会場は興奮のるつぼ。試合はブッチャー組の反則負け。兄は後年、「私たちが日本で成功したのはブッチャーさんのおかげ」と述懐。見事なエンタテナーだ。

人種差別の苦悩

番組は、人種差別の苦悩を抱えたブッチャーさんの悲しみにも迫る。ブッチャーさん人気をねたむ白人選手が控室で「臭い」と言ったり、ゴルフクラブで殴ろうとしたりした。ブッチャーさんはひたすら我慢していたと、関係者は語る。ジャイアント馬場さんがそんなブッチャーさんに専用控室を準備してくれた。悲しみを超え、ブッチャーさんはますます日本が好きになった。一方、アメリカでは行き場を失った若者への慰問活動を40年間続けている。

今年2月19日の引退セレモニー。車イス姿でリングに上がったブッチャーさん。ウエスタンラリアットで一世を風靡（ふうび）した後輩のスタン・ハンセンさんもかけつけ、労をねぎらった。そして、大好きだった日本のリングとファンへのラストメッセージ。それは、極めて清々しい道徳的な内容だった。「みんな、両親を大切にしよう。老人ホームに入れるなよ。いずれみんなも歳を取るのだ。サンキュー。サンキュー。サンキュー」。



イラスト：山田いつか

PRO

“プロ”消防士の条件

リカバリーテクニックで、コンディションを保つ。

大阪市中央体育館トレーニング室支配人
福田悟志

PROFILE●

○指導歴／
松下電器バスケットボール部、
大阪エヴェッサ、西宮ストークス、
ミキハウス女子柔道他

○資格／
NSCA CSCS
TSAC-F
ISSA　CFT
健康運動指導士
NR・サプリメントアドバイザー
第一種衛生管理者

先日、テレビの番組でアメリカのファイヤーカレッジ（消防学校）で消防士を目指す女性の話が取り上げられておりました。男性と同じ、かなり危険を伴うようなカリキュラムが組まれており、挫折一歩手前まで追い込まれながら、消防士になる夢をかなえるというような内容でした。

番組の中でコンバットチャレンジという消防士の体力と技術を争う大会の模様も放送されておりました。日本で言えば、救助技術大会のような感じだとは思いますが、消防現場における様々な要素が含まれています。まず、全装備を装着した状態で①約20kgのホースの束を担いで、13mの鉄塔の階段を駆け上がります。②続いて鉄塔の上からロープの先に吊るしてある巻ホース、約20kgを引き上げます。③続いて階段を駆け下り、4kgのハンマーを使って、74kgの重りを打ちつけ、1.5m移動させます。④4.2mスラロームをダッシュして水を張った45㎜ホースの先端を担ぎ、2.2m前進、放水してターゲットを倒します。⑤87.5kgの人形を30m引きずり、最終ゴールします。男性で1分半、女性で3分程度が記録になっています。酸素マスクをつけた状態ですから呼吸制限があり、マスクのために視界にも制限がかかります。当然ブーツですから走りづらいなど様々な動作に抑制がかかります。このストレス下、息も絶え絶え、レースが終わったときには疲労困憊状態に陥ります。

優勝した選手にインタビューがあったのですが、その時の消防士の答えが「明日朝から勤務が待っています。今から徹夜で帰って勤務に入ります」なるほど、疲労困憊の上に徹夜で帰って朝から勤務が待っているわけで、さすがタフだなと感じました。ただ、疲労困憊の状態では集中力が欠如して業務に支障をきたすこともあるのでないかなと思いましたが…。

疲労を早く回復させるために

筋肉は過度なストレスや弱いストレスでも繰り返しかかると徐々に拘縮していきます。いわゆる硬くなってくるわけです。拘縮が進むと筋肉の能力を十分に発揮できなくなるだけでなく、肉離れなどの要因にもつながります。火災現場で十分なパフォーマンスを発揮するためには柔らかい筋肉を維持することが重要になります。

年齢とともに体力が低下、疲労回復能力も低下します。特に30代以降はハードな作業や訓練、トレーニング後、単に自然に回復を待つのではなく、意識的に回復を促すような行為を積極的に実施していく必要があります。では、具体的に日常生活の中で回復を意識するにはどのようなことに気をつければよいのでしょうか。

① 睡眠（表1参照）

睡眠は言うまでもなくストレスから解放され、身体が回復する最も重要な時間です。一般的には7時間から8時間程度の睡眠が必要といわれていますが、特に入眠から3時間程度は成長ホルモンの分泌が高くなり、身体の修復・回復が促進されます。質の高い睡眠は心疾患や脳卒中、高血圧などのリスクを減ら

表1　適切な睡眠は最高のパフォーマンスを保つ

質の高い睡眠のために
・エクササイズを行うことで入眠時の時間が短縮できる
・7から8時間の睡眠が理想的
・毎日寝るときの時間を決める
・良好な睡眠が得られるマットやベッド、枕には投資するだけの価値がある
・寝る直前に電子機器を使わない
・最低限の騒音におさえ、部屋をできるだけ暗くする
・アルコールやたばこ、量の多い食事は避ける
・必要であれば、10分から30分の昼寝をする
・もし、慢性的な睡眠不足であれば、専門機関で治療やケアを行う

し、血管のダメージを修復、筋細胞の修復、筋力改善、免疫機能の改善などの効果があるわけです。また、睡眠の質という点で、枕やマットを意識しているアスリートも多いようです。

ちなみにアメリカの特殊部隊では過酷な訓練の中、注意力、集中力を回復させるために、昼寝やうたたね(写真1)の効果を上げています。

写真1
うたた寝や昼寝は集中力や注意力を回復させる。

② 軽い有酸素運動、フラッシュライド

激しい訓練やトレーニング、また、現場作業の直後、軽い有酸素運動を実施することで、全身の血流量を増加させ、筋肉の拘縮改善に効果が期待できます。運動強度は非常に軽めで10分から20分ぐらいが目安です。

カナダのアイスホッケーのチームは固定式バイクを使って、負荷をゼロにして回転数のみ100回転／分で20分ほどの自転車こぎを行い、全身の血液循環を高めて疲労の回復を促進するフラッシュライド(写真2)という方法を取り入れています。これは、運動直後だけではなく、運動前や休みの時に活用している選手が多いようです。

写真2　フラッシュライド
ペダルの負荷はゼロ、回転数だけを高くして、全身の血液循環を高める。

③ 交代浴

温浴と冷浴を繰り返すことで、血管の拡張と収縮を促し、血液循環を高める方法です。疲労回復の手段として多くのスポーツチームに取り入れられています。40度前後のお湯に2分間、水(できれば16度ぐらいが良いとされていますが、普通の水風呂25度ぐらいでも構いません)に1分間つかります。これを3から5セット繰り返します。サウナと水風呂も同様な効果が期待できます。また、家庭で実践する場合は、シャワーを用いて、お湯2分、水1分、3から5セットでも構いません。

温浴だけ、冷浴だけでも効果があります。温浴であれば半身浴で30分ぐらい、週に2日ぐらいを目安に。また、温泉なども効果的です(写真3)。冷浴の場合は運動直後にシャワーで水を浴びるように意識します。

16度ぐらいのいわゆる氷風呂、アイスバスも回復促進に人気がありますが、これは水にさらに氷を入れるなど、ややコストがかかります。

④ 筋膜リリースとストレッチ(写真4)

血液循環を高めるという方法ではありませんが、疲労して拘縮している筋肉をほぐすという目的で行います。皮膚と筋肉の間にあるコラーゲン線維や水分から構成されている結合組織、これを広義で筋膜と呼んでいます。筋肉が拘縮することで筋膜にかかる張力が変化して全身のバランスに影響を与えるとされています。筋肉の拘縮をほぐすためにフォームローラーやマッサージなどが有効です。身体の動きにかなり良い影響を与えますから、競技にかかわらず多くのアスリートが筋膜リリースの様々なテクニックを実践しています。

写真3　温浴
温泉も疲労回復には効果的。

写真4　筋膜リリースは筋肉の拘縮を緩和して、筋パフォーマンスを上げる。

以上、代表的なリカバリーテクニックですが、これらを複合させて日々の生活の中で回復を促すことがコンディションを保つために有効です。次回は簡単に実践できる筋肉リリースを紹介してまいります。

レスキューナースからのメッセージ

国際災害レスキューナース
辻　直美

計算式だけでは想定できない災害が・・・

台風15号、19号、21号の後も、秋雨前線や低気圧で被災地に雨が降り続いていました。

今まで、このエリアは危ないと言われていなかった地域でさえ水害に・・・。やはり計算式だけでは、実際に想定できないのだなと肌で実感しました。皆さんは何を感じましたか？

私の「抱っこの会」の生徒さんが被災しました。子供２人と夫の４人暮らし、家の前の道がだんだんと水かさを増してきても、いつ逃げればいいのかタイミングがなかなか決められなかった。覚悟を決めて逃げたのに、避難先も流されており、結局近くの家の屋根の上で一晩過ごしたとのこと。彼女は、私が日頃から発信していたことを思い出し、行政からのメールがない中でも避難することを決断し、屋根の上でもいろいろ思い出しながら実践して救出されるのを待ち続け、救出されたのは丸一日経った夜の事だったというのです。

救急要請しても繋がらない、繋がってもトリアージされて二回断られたと言っていました。「先生が言っていたこと、本当でした。まさか救急車が来てくれないなんて考えてなかった。あれだけの被災ですから、順番は大事、それもわかる。しかし助けに来てくれないんだと呆然とした」と。

今回の台風と豪雨は、世の中に対して防災の概念や今までの知識や対策では全く無意味だったと自覚する事になりました。

今後は更に大きな台風、豪雨、猛暑、立て続けに地震が同一の地域に起きることもあるでしょう。私たち、防災と救助のプロこそが「このままではダメだ」と自覚することからが、スタートだと思います。

４年９カ月間、こちらに記事を書かせて頂きましたが、今回で最後となります。

最後に皆さんに伝えたいことがあります。

私はレスキューの先輩に、新人の頃言われて忘れられないものがあります。「その世界で長くいればいるほど、苦いことを言ってくれる人はいなくなる。それは自分が出来ていると、考えるのは大きな驕りになり、事故を起こす」と。

皆さんの周りに「苦いことを言う人」がいたら、ムカついても一度話を聞いてみてください。きっとそこには、自分では考えもつかないヒントがあると思います。

皆様がこれからも安全で、かつ市民の命を守るお仕事に邁進されることを心からお祈り申し上げます。

本当にありがとうございました。

大阪市防火管理協会からのお知らせ

販売図書のご案内

安全の手引き
価格 330 円（税込）
[会員の方は、特別価格で販売いたします]

【内容】

●ホテル、旅館の宿泊客が、「火災が発生したとき」など緊急時に取るべき行動を7か国語（日本語、英語、韓国語、中国語、ドイツ語、スペイン語、フランス語）で解説しています。
●紙面の両面をＰＰ（ポリプロピレン）加工しているため、光沢があり汚れにくく、客室などに常備できます。
●宿泊客を火災や地震などから守るための小冊子です。

・A4判、8p、図書重量 85 g
編集・発行／一般社団法人大阪市防火管理協会
監修／大阪市消防局

【お問い合わせ・お申込み先】

（一社）大阪市防火管理協会
〒544-0021 大阪市生野区勝山南4丁目7番 11 号
TEL：06-6741-2130　FAX：06-6712-2130
E-mail：info@sonae.or.jp

防火・防災管理講習日程表

●甲種防火管理新規講習
（講習会場：阿倍野防災センター
講習時間：両日とも10：00～16：00）

回数	開催日
第41回	令和２年２月１日（土）、２日（日）
第42回	令和２年２月６日（木）、７日（金）
第43回	令和２年２月８日（土）、９日（日）
第44回	令和２年２月20日（木）、21日（金）
第45回	令和２年２月27日（木）、28日（金）

●甲種防火管理再講習
（講習会場：大阪市消防局生野分室
講習時間：10：00～12：00）

回数	開催日
第12回	令和２年２月16日（日）

●防災管理新規講習
（講習会場：大阪市消防局生野分室
講習時間：10：00～15：30）

回数	開催日
第10回	令和２年２月17日（月）

●防火・防災管理新規講習
（講習会場：（※1）阿倍野防災センター
：（※2）大阪市消防局
講習時間：両日とも10：00～17：00）

回数	開催日
第25回	（※1）令和２年２月３日（月）、４日（火）
第26回	（※1）令和２年２月12日（水）、13日（木）
第33回	（※2）令和２年２月18日（火）、19日（水）
第27回	（※1）令和２年２月22日（土）、23日（日）

●防火・防災管理再講習
（講習会場：大阪市消防局生野分室
講習時間：14：00～17：00）

回数	開催日
第12回	令和２年２月24日（月）

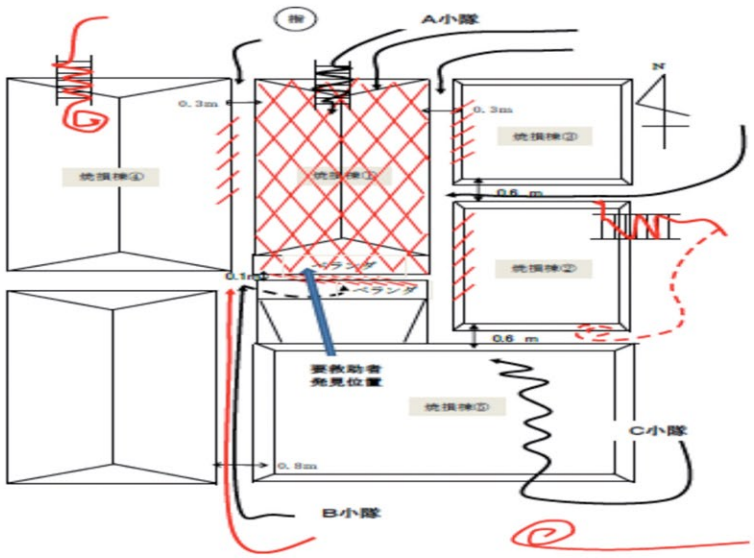
コマンドアイ

様々な事案から災害活動を振り返る

南方面隊

今回のテーマ

他の警防活動に優先して…



はじめに

火災現場に出場する際、このことを念頭に置いて活動しているだろうか。「救助隊及び最先着の小隊は、救助活動にあたらなければならない」「他の警防活動に優先して行うこと」これは大阪市消防局警防活動基本計画第31条、救助活動の原則の一部である。

今回は、真夏の夕方に木造2階建住宅で発生した炎上火災において、消火隊が人命救助活動を行った事例を紹介する。

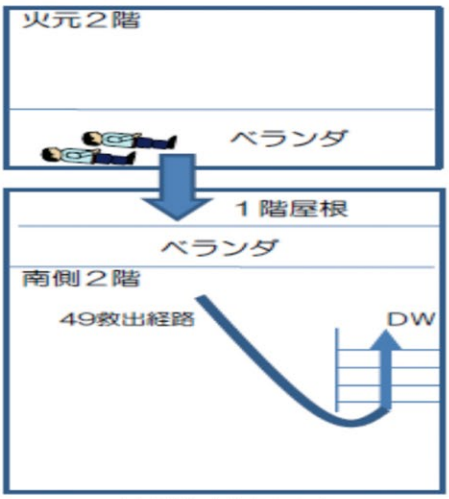
【覚知時間】16時29分
【天候】快晴
気温30.9℃　湿度62％
【焼損状況】合計5棟
60㎡焼損、50㎡表面焼損
【出火棟】
木造瓦葺モルタル塗2階建住宅建30㎡延60㎡の1、2階60㎡焼損
【類焼棟】
鉄骨造3階建住宅等4棟50㎡表面焼損
【死者】1名(要救助者)
【傷者】1名(要救助者)
【出場隊数】32台1機
人員116名

時系列

16時29分　覚知時間
16時29分　第1出場指令
16時32分　先着消火隊到着
16時33分　中隊指揮本部設置
16時34分　第2出場指令(指揮班より要請)
16時48分　要救助者2名救出完了
16時58分　包囲体制完了
17時02分　鎮圧

活動状況

「火災指令○○管内住宅火災、2階建一般住宅出火」指令を受けたA小隊が出場して間もなく「高所カメラ情報煙気有り、続報によれば要救助者あるもよう」との無線情報が流れた。A小隊は災害点の方向に立ち上がる黒煙を確認、車内に一層の緊張感が走るなか、指定方面に消火栓部署した。先着隊が中継送水を求めていたので、A小隊長は自隊が中継することを宣言し、隊員にホース延



南側隣接建物（平面図）

火元２階ベランダ（南側から北側に撮影）

長するよう指示した。隊員よりも先に情報収集のため火元住宅へ向かったところ、付近住民に呼び止められ、「ベランダに２人いる」との情報を得たので確認に向かった。

住民の誘導により火元南側住宅の２階へ至ると、火元住宅ベランダの窓から火煙が噴出しており、南側住宅の住民が火元に向け園芸用ホースで水をかけていた。そして、そのベランダに要救助者２名（高齢男女２名）が火煙から逃れるために避難しており、火煙が勢いを増すなかで、一刻を争う状況であった。

Ａ小隊長は、ベランダへ進入し要救助者の救出を試みようとしたが、ベランダの手すりが胸の高さ以上あり、激しい熱気と濃煙がある中で、自分１人で安全に救出することは困難と判断し、南側へホース延長中であったＢ小隊とＣ小隊へ協力を求めた。要救助者の男性は熱傷を負いながら、倒れている女性をかばうかのように、重なり合い身動きがとれない状況であった。

Ｂ小隊とＣ小隊のうち２名がベランダに進入し、要救助者と隊員を火煙から守るため、Ｂ小隊が延ばしたホースで援護注水を行った。その際Ｃ小隊長は、北側からの対向放水がベランダへ火煙と熱気を押し込んでくる可能性があると判断したため、救出が完了するまで放水を停止するよう無線で指揮本部に連絡した。なお、Ａ小隊長は救出後の搬送動線と搬送人員を確保し、救急隊を南側住宅玄関付近で待機させていた。

ベランダへ進入した２名の隊員はまず、熱傷を負っている男性から救出することにした。スリングを活用し、徒手にてベランダから抱え上げ、南側住宅ベランダの隊員に引き継いだ。この時、もう１人の女性は、火災の怖さに手すりを握りしめ、目を瞑って震えている状況であった。そこで、「大丈夫、絶対助けるから」と声をかけ続け、徒手にてベランダから抱え上げるように救出した。

おわりに

今回の事例は、北側が道路に面し北を除く３方向に住宅が密接し、延焼危険が大である火災で、周囲の路地が30㎝以下と狭隘なため、消火隊は総力を挙げて延焼阻止にあたらなければならない状況であった。

そんな中、指揮本部位置である北側道路からは、確認しづらい背面の要救助者２名に対して、消火隊３隊の連携により人命救助を成し遂げたものである。

言うまでもなく、警防活動の原則は人命救助最優先であり、火災現場では多くの情報が飛び交うが、重要情報はすべての消防隊が共有しなければならない。特に、要救助者の状態や人数、周囲の環境等により、自隊のみでは対応できない場合も多々あるため、今回の事例のように、早期の協力依頼を行うとともに救出のための指揮本部への即報や放水停止指示、救急隊の要請及び救急隊までの動線や搬送人員の確保等、救助活動全体をイメージした明確な任務分担を図るといった臨機の判断が求められる。

（文責　和倉）

調査鑑識

予防部予防課

今回のテーマ

令和元年度 大阪市火災調査事例発表会（2）

SURVEY & INVESTIGATION

令和元年９月20日に、令和元年度大阪市火災調査事例発表会が消防局の７階講堂で開催され、各署からの多数の応募事例から選ばれた５事例が発表された。今回、その概要について紹介する。

令和元年度発表者

～前号から続く～

《事例３》 初期調査活動の大切さ

【概要】

木造カラーベスト瓦葺モルタル塗一部トタン張１棟13住宅が２８７㎡焼損し、死者１名が発生した火災である。焼き状況から出火室を特定するには時間を要すると予想されたが、所轄情報担当が撮影した現場初期の写真、関係者への聞込み及び消防隊の活動状況の情報を早期に集約することにより出火室の特定に至った。

先着隊は、出場途上からすでに初期調査活動が始まっていることを意識するとともに、初期の燃焼状況を撮影し可能な限り早期に関係者への聞込みを実施することが迅速な原因究明に繋がると改めて認識した事例である。

事例３

《事例４》 ＹＯＵのそばにも有機過酸化物

【概要】

産業廃棄物を一時保管する事業所の倉庫内において、４１９㎡焼損、その他事務所棟等が類焼した火災である。

調査の結果、倉庫内のパレット上に置かれた第５類危険物（有機過酸化物）が高温下に長時間存置されていたことに加えて、異物が混在した状態であったため、徐々に発熱を伴う自己分解反応を起こし、その熱により、さらに分解が促進。最終的には自己分解温度に達したことで熱暴走を起こし、自然発火に至ったものと結論づけた。消防職員として危険物は予想以上に身近に使用されている現実を知るとともに、危険物の特性を理解し、火災予防対策等の指導を積極的に実施する必要性を感じた事例である。

事例4

有機過酸化物とは・・・

① 熱に敏感であり、自己分解を起こしやすい。

② 分解時に熱を発生する。

③ 熱暴走する。

④ 異物により急速分解が起こり大量の熱とガス状の反応生成物が発生する。

なんと実況見分中にも自然発火！！

《事例5》

台風は通過したしかし気は抜けない通電火災

【概要】

木造瓦葺トタン張2階建併用住宅1棟2住宅が70㎡焼損した火災である。本火災は、出火の2日前に近畿地方を縦断し、強風、大雨及び高潮による甚大な被害をもたらした平成30年台風21号が大きく関係している。台風に伴う強風により建物の電気配線が外壁の貫通部において、土壁との摩擦により配線被覆の絶縁が破壊され、そのことに気付かずに停電を復旧したため配線が短絡。その際に発生する火花によって、外壁間隙内の埃や内在品に着火し、出火に至ったものである。既に注意喚起を行っている大地震後の復電火災の危険性に加えて、台風後の復電火災の危険性についても、注意喚起の必要性があるとの認識に至った事例である。

事例5

▼おわりに

今年度の火災調査事例発表会の概要を紹介してきたが、いずれも今後の火災調査に活かせる内容のものであった。詳細は、発表資料を庁内ポータルに掲載しているので、各自で一度目を通していただきたい。

火災件数が減少している今だからこそ1件の火災の重要性を再認識するとともに、管轄外で発生した火災の情報にも耳を傾け、いかにすれば今後の火災予防に繋げていけるかという探求心を絶やさないことが重要である。

予防課(調査鑑識)では、来年度以降も継続して火災調査事例発表会を実施する予定であり、各消防署からの積極的な事例の応募と多数の聴講参加を期待する。火災調査事例発表会が各署における調査業務の一助となれば幸いである。

(文責　工藤)

RESCUE VOICE Ⅱ

～ 木造火災における救助隊・消火隊の連携 ～（No.17）

警防課
本部特別高度救助隊

▼事案概要

本事案は、木造瓦葺モルタル塗2階建住宅兼作業場において2階80㎡を焼損した火災で、要救助者が2名発生した事案である。なお、本事案において、職員負傷も1名発生している。

▼事案概況

覚知日時　令和元年8月15日(木)　22時58分
指令時刻　22時58分
消防隊到着
　先着消火隊　23時02分
　先着救助隊　23時02分
要救助者　2名
　♀　N救助隊　誘導
　♂　N救助隊　救出

▼指令～出場途上

台風が過ぎ去ったものの雨が降り続く夜の庁舎に、火災のトーンが鳴り響いた。

「火災指令　N管内　建物火災　N区●●　付近建物出火」との指令を受け、N消防署の救助隊として出場した。

出場途上に、白煙を確認し、指令情報センターに「走行中白煙あり」の無線即報を実施。救助隊長から現場到着後すぐに検索準備を整えるよう指示があった。隊員間でエンジンカッター、ロープバッグ等の準備を確認し、災害現場へ向かった。

▼現場到着～主な活動

発災建物西側に車を停車させると、2階から黒煙が噴出し、火炎も確認できた。1階の入口前で先着N消火隊が放水準備を整えており、同入口から内部を確認すると、白煙が漂っているが、援護注水なく検索が可能な状況であった。小隊長から「近隣住人情報、居住者は女性1名、男性1名の親子」とあり、直ちに面体を着装し、1階へ進入。

「誰かいませんか」と呼びかけながら1階奥へと進むと高齢の女性1名が立っていた。すぐに建物の外へと誘導しながら、他の滞在者の有無について尋ねると、「2階に息子がいる」との情報を得たので、女性を後から進入してきたN消火隊の隊長に引き継ぎ、救助隊長以下3名及びN消火隊の筒先隊員と共に、屋内階段から2階への進入を試みた。

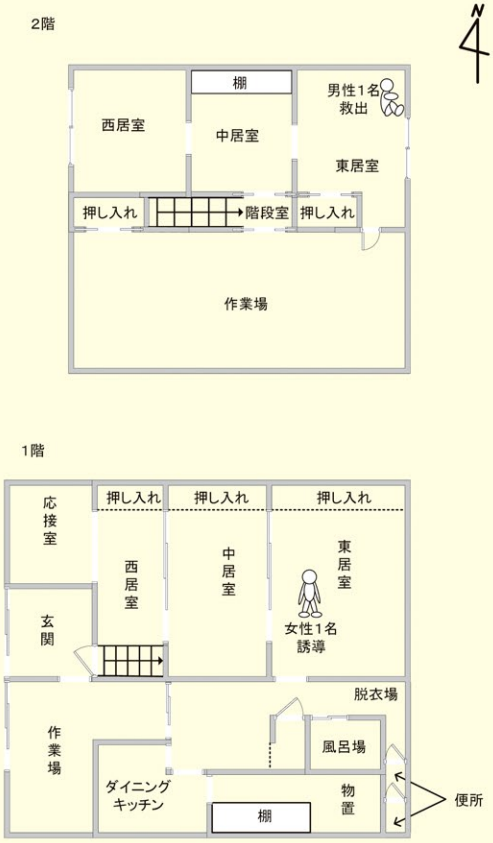
しかしながら、すでに2階は燃焼が全体的に拡大しており、1口の放水のみでは火勢を抑えることができず、屋内階段からの進入

は困難であると判断した。

一旦建物外へと退出したところ、先に誘導した女性から2階の間取りは屋内階段を挟み、北側が居室、南側が作業場であり、要救助者は居室側にいるとの情報を得た。消火隊により西面に折りたたみ梯子が架梯されていたので、当該梯子を使用し、2階窓から進入することとした。

後着救助隊に要救助者情報を伝え、自隊は西面の窓から、後着救助隊は三連梯子を使用し東面の窓から進入すると決定し、両隊の活動方針の確認を行った。折りたたみ梯子を登り、西面2階窓へ至ると、ところどころ屋根は焼け落ち、2階は激しく燃焼中であった。

消火隊の援護注水が無いと進入ができない状況で、K消火隊に支援を要請。後着救助隊にあっては東面からの進入を試みていたが、東面も火勢が強く進入が困難である旨の無線報告があった。西面はK消火隊が到着したので、進入のため放水を依頼。落下物を落としつつ、援護注水を受けながら2階内部へと進入し検索を開始した。



居室側は3区画に分かれており、西面からK消火隊と共に東面へと検索を続けた。2区画を検索したが発見に至らなかったが、残す1区画の進入前に要救助者がベッドで寝ている可能性が高いとの情報を得た。

最終区画に入ってすぐに2段ベッドを発見したが、ベッド上を検索するも要救助者は発見できなかった。そのまま区画内の検索を継続したところ、北東角付近で要救助者を発見。K消火隊と協力し屋内階段まで抱えで搬送し、T消火隊が搬送してきた布担架に要救助者を移し換え、地上へ救出した。

▼事案を振り返って

今回の事案は、早期に2階の要救助者情報を得て、救助隊間で要救助者情報及び活動方針を共有し、火勢が強い中、消火隊と連携しながら、要救助者を発見し救出に至った事案であった。

しかしながら、本事案において、要救助者は北東側の居室から救出されており、先に屋外へ誘導した居住者から詳細な情報を得ることができていれば、東面からの検索を優先させ、西面からの放水を制限するなど、活動方針も大きく変更できたと思われる。また、本事案で職員負傷も発生した。

2階で検索を実施していた救助隊員が、上方から落下してきた屋根瓦で負傷しているが、西面2階窓に至った時には、火災の最盛期で、すでに屋根の崩落が始まっており、消火隊の放水により屋根上の瓦を落下させながら進入していたが、まだ屋根上には一部の瓦が不安定な状態で残っており、その瓦が落下したのが原因である。

要救助者を早く発見し救出したいという想いは誰しもあるが、災害現場には多くの危険が潜んでいることをいま一度認識する必要があると感じた。

この災害に限らず、今年も大阪市内で多くの職員負傷事案が発生しているが、災害活動のプロ集団として、怪我無く活動を終えることが当然のことであり、安全管理について、もう一度高い意識をもつことが必要であると改めて感じた現場であった。

（文責　京地）

令和の新戦力!!

大阪府立消防学校　第107回初任教育

入校式

4班

大阪市 延地　広大	堺市 松村　真	枚方寝屋川(組) 中橋　俊介
大阪市 植田　祥多	大阪市 山岸　友佑	大阪市 鳥井　清明

1班

大阪市 奥野　翔太	岸和田市 菅原　一輝	枚方寝屋川(組) 猪村　優陽
大阪市 毛谷　友紀	大阪市 濵口　大輝	大阪市 堀上　寛弥

5班

大阪市 岩堀　愛満	堺市 池中　光男	枚方寝屋川(組) 藤岡　博正
大阪市 小林　耕太	大阪市 杉本　正俊	大阪市 秋山　威吹

2班

大阪市 西村　優太	岸和田市 浦川　慶大	枚方寝屋川(組) 谷口　健太
大阪市 花野　翔麻	大阪市 村上　雄基	大阪市 安田　隆佑

6班

大阪市 小林　玄汰	堺市 秋田　知哉	枚方寝屋川(組) 寺本　光希
大阪市 田中　沙弥	大阪市 大徳　清志	大阪市 松山　陸

3班

大阪市 柴田　零太	堺市 中野　翔介	枚方寝屋川(組) 中井　達也
大阪市 山﨑　勝矢	大阪市 北村　紗世	大阪市 森　亮太

10班

大阪市 山本　真輝	枚方寝屋川(組) 山口　勇希	八尾市 辻田　宏人
大阪市 西田晃太郎	大阪市 片木　美里	大阪市 光石　一稀

7班

大阪市 金丸　凌	堺市 中町　洋平	枚方寝屋川(組) 服部　凌河
大阪市 谷本　佳紀	大阪市 櫛野　功輝	大阪市 山根　一真

11班

大阪市 柴嵜　竜也	大阪市 河口　優也	
大阪市 荒田　純樹	箕面市 福田　慎也	泉大津市 羽根壮一郎

8班

大阪市 金山　恵治	堺市 木下　康紘	枚方寝屋川(組) 森　啓吾
大阪市 湯川　京介	大阪市 井上　一希	大阪市 松本　茉与

12班

大阪市 津村　晴也	泉大津市 竹村　綾真	箕面市 濵口　慧
大阪市 蔵治　大河	大阪市 藤本　翔太	大阪市 西川　耕平

9班

大阪市 吉田廉太朗	枚方寝屋川(組) 野口　瑞希	八尾市 野村　文哉
大阪市 柴田　泰志	大阪市 杉本　悠史	大阪市 光月　快

16班

大阪市 髙橋　利季	高槻市 吉田　千穂	箕面市 横山　雄祐
大阪市 三寺　晴也	大阪市 井上平八郎	大阪市 大塚　尽斗

13班

大阪市 武市　里奈	泉大津市 藤川　周諭	箕面市 亀田　拓海
大阪市 窪田　琢也	大阪市 伊禮耀一郎	大阪市 根木　滉一

17班

大阪市 澤本　美頼	高槻市 圓岡　将輝	摂津市 奥山　充起
大阪市 木村　卓祐	大阪市 田中　涼太	大阪市 山口　悠斗

14班

大阪市 岡本　朋也	泉大津市 松本陽南汰	箕面市 栗本　大地
大阪市 堀田　大輔	大阪市 足立　洸輝	大阪市 井上　大介

18班

大阪市 柴田　大輝	高槻市 山田　裕也	箕面市 八野　慎也
大阪市 上田　翔太	大阪市 永吉　稜	大阪市 光田　七夢

15班

大阪市 山本陽奈琳	高槻市 藤内　郁也	箕面市 芳賀　啓大
大阪市 庄子　哲徳	大阪市 延山　大輔	大阪市 石井　翔

20班

大阪市 梅木　翔大	豊中市 金馬　宏如	摂津市 道工　知沙
大阪市 松浪　大亮	大阪市 北市　博人	吹田市 永嶋　風也

19班

大阪市 野口　祐	豊中市 山本　淳史	摂津市 黒木　良亮
大阪市 中村　亮太	大阪市 野村　哲也	大阪市 江村凌太郎

宣誓書記入

入寮日

訓練風景

訓練風景

楽に分って楽しい古典

楽楽大阪弁万葉講座

（万葉研究家）中村　博

（作者略歴）犬養　孝教授の万葉集講義を受け、「万葉の旅・犬養　孝著」掲載故地309カ所完全踏破。犬養先生揮毫歌碑142基全探訪。万葉歌4516首の関西弁訳完成「万葉歌みじかものがたり」十巻刊行。「大阪消防」平成30年8月号「いらっしゃい大阪消防です！」参照。

（第十一回）
焼けぼっくいに　火が点くか

天智七年（668）
都が近江へ変って一年余り
遷都騒動も　ようやく落ち着きを見せていた
時は春
ここ蒲生野では　薬狩りが行われている
額田王は　お付きの女官と共に
久方ぶりの　楽しみを味わっていた

カツ　カツ　カツ　遠くに響く蹄の音
何気なく　仰ぐと
あれは　大海人皇子

分かれたけども　心は通う
元彼女見たら　心は弾む
人目もあるに　これ構わんと
大胆不敵　元彼女誘う

（あれ　あんなに袖を振って　わたしを誘っている）
ふと　額田王は　二人の若かりし日を思った
（端ないことを　人目もあるに
昔と変わらぬ皇子だこと）
大海人皇子は　馬を近づける・・・
それを見やって　額田王は　詠い懸ける

《春野摘み　野守り見るやん
　行き来して
　うちの方向こて　袖なぞ振って》
茜さす　紫野行き　標野行き
　野守は見ずや　君が袖振る
　　―額田王―（巻一・二〇）

近づく大海人　思わず　馬を止め
微笑みかけながら　詠い返す
《そう言いな　可愛いお前に　連れ合いが
　居るん承知で　誘たんやから》

紫草の　映える妹を　憎くあらば
　人妻不拘に　我れ恋いめやも
　　―大海人皇子―（巻一・二一）

にっこりと　微笑み返す　額田王
「ワッハハハ・・・」
豪快な笑い声を残し
駆け去って行く大海人皇子

蒲生野に　春の日差しが揺れている

【『令和天翔け万葉歌みじかものがたり』より】

こんな勇気が　あるかなあんた
火ィも煙も　厭わん云なら

著書を「ブログ」で公開しています。
『古典オリンピック』で検索ください。
著名古典の競演が見られます。

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
中内　秀文

自衛消防競技会に意欲的に取り組むことで職員の迅速な消火技術の習得を図っております。今後も積極的に参加し、地域の防火防災活動に貢献していきたいと考えております。

港区　奥村組土木興業株式会社

奥村組土木興業株式会社は、港区に本社を置く建設会社であり、関西を基盤に工事エリアは全国にわたっておられます。

土木工事を主体とし、建築工事、ライフライン設備工事、建設資材の製造・販売、リサイクル業などの関連業務を幅広く手がけられています。

また、昭和49年10月に港自衛消防研究会(現：港自衛消防協議会)に入会されるとともに、各種事業に積極的に参加され、当協議会の円滑な運営に御協力いただいております。

当自衛消防隊は、消防設備の維持管理はもとより、常日頃から防火防災の知識及び技術の向上を積極的に図っておられます。

また、自衛消防技術競技会では毎年上位入賞するなど優秀な成績を収められており、署員一同心強く感じる存在となっています。

女性防火クラブだより

都島区

都島区女性防火クラブは、昭和58年結成の「アクアリーメンバー」を前身としており、現在は愛称として使用しています。平成3年「都島区婦人防火クラブ」、平成13年「都島区女性防火クラブ」と名称を変更し現在に至っています。

古山代表以下9名の役員が中心となり防火・防災の研修、普通救命講習、各地域での震災訓練への参加、消防出初式、火災予防運動での広報活動等各種の事業に参加、協力しています。

今年も春の火災予防運動では、大阪メトロ都島駅で朝の通勤時間帯に火災撲滅、住宅用火災警報器の設置・電池交換時期の注意喚起等の街頭広報を実施し、広く区民の皆様に火災予防啓発を行いました。

これからも都島区女性防火クラブは、地域の皆様や都島消防署と一体となって地域の安全・安心に尽くして参ります。

環状線
LOOP LINE

Pick Up

港

未来の消防士を目指して？

港中学校２年生でサッカー部や陸上部など運動クラブに所属する生徒４名が職場体験にやってきた。

10月24、25日の２日にかけて、消防の業務について学び、普通救命講習を受講後は、消火・救助など様々な訓練を体験した。

志望動機を聞いてみると、口を揃えて「人を助ける仕事だから」と。

「そのためには体力・気力を充実させなあかん！」と署員の指導にも熱が入った。

生徒達は、まずホースをかついで階段を３階まで駆け上がるホース搬送訓練を行い、次に呼吸器を着装して地下室からの人名検索・救出訓練など体力的にきつい訓練を体験した。さすがに全員体育会系の強者、全員がへこたれずにやり遂げることができた。

「なかなかやるな！」と署員も驚いていた。

最後に感想を聞くと「消防の仕事は大変そうだなあと思いました。でも、消防士は将来の選択肢の一つになりました」と、頼もしい言葉が返ってきました。（平田）

福島

防火講演会の開催

9月18日、当署にて「福島自衛消防協議会防火講演会」を開催しました。

講師に当局予防課調査鑑識係員を迎え、出前講座「火事を知り、火災から身を守る！」を通じて、事業所における火災ゼロを目的に講演いただきました。

参加者の中には熱心にメモを取る方もおられ、真剣なまなざしで聴講されており、中でもトラッキング火災などの実験では歓声が上がるなど、有意義な防火講演会になりました。（佐藤）

北

北区民カーニバルに参加しました！

晴天の秋空のもと、10月20日、扇町公園で開催された北区民カーニバルに「消防コーナー」で参加しました。

今年の「消防コーナー」は、子供用防火衣を着てミニ消防車の乗車体験、煙テントで煙中体験及び防火・防災パンフレット等の配布を行いました。

視界ゼロの煙体験をした不安気な子供たちも、子供用防火衣を着て、ミニ消防車に乗って写真を撮ってもらうと、たくさんの笑顔に変わりました。

笑顔が輝く未来の消防士たち。（内山）

此花

総務省消防庁主催の自衛消防コンテストに出場

管内には複数の事業所で共同運用する「大阪北港地区共同防災組合」があり、自衛消防コンテストに今年で3度目の出場となりますが、今回見事予選を勝ち抜き本選出場となりました。

1回目が消防庁長官賞と特別賞、2回目が総務大臣賞、今年こそは最優秀賞をと日夜訓練を重ね、10月25日の本選では磨きのかかった操法を実施されました。

審査結果は後日となりますが、最優秀賞に輝くことを祈っています。（川端）

都島

都島区民まつりでVR避難体験

当日の天気予報は雨でしたが、9月21日、午後からは日差しがきつい程の晴天となり、消防ブースは盛り沢山の啓発内容で実に多くの皆さんにお越しいただけました。

特にVRを活用したビル火災からの避難体験コーナーでは、「凄くリアル」「初めての体験」等、皆さん興奮気味に感想を述べられ、泣き出すお子さんも現れるなど、担当者も大慌ての中でしたが、素晴らしい啓発効果が発揮できたと思います。（山野）

大正

地域防災訓練

9月14日、大正東中学校にて地域防災訓練を実施しました。

クロスロードを用いた研修、4地域のリーダーが集まり中学生と協力して実施する可搬式ポンプや負傷者搬送訓練、森之宮医療大学の学生による救命講習という内容で行いました。

地域と行政、そして土曜授業を活用して学校とも連携した訓練となりました。今後、地域防災の担い手となる青少年層に対する指導を大正区一丸となって取り組んでいきます。

大正区から広げよう防災の輪！（中田）

中央

この笑顔を守っていく

なにわの宮跡で中央区民まつりが開催されました。

当日は10月らしからぬ暑さの中、子供用防火衣の試着や起震車体験、セイバーミライとミニ消防車との記念撮影など、様々な啓発運動を実施しました。

イベントが終了するまでの間、写真撮影の順番待ちをする子供たちの行列と楽しげな笑顔は途切れることなく、イベントは大盛況でした。

カメラのシャッターを切る度に、この笑顔を守っていく使命感、責任感を強く感じました。（曽我）

©TOMY 「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

天王寺

地域防災リーダーアドバンストコース開催

9月23日、当署において「地域防災リーダーアドバンストコース（救助コース）」を開催しました。

これに天王寺区地域振興会災害救助青年部の20名が参加され、ロープ結索、高所救助（確保要領）、搬送要領、ジャッキアップ等の訓練に汗を流されました。

ちなみに全市的には「地域防災リーダー」という名称ですが、当区ではその歴史的経緯から「天王寺区地域振興会災害救助青年部」という名称で組織されています。（大西）

西

西区民まつり　体育と防災のつどい

区民まつりの一つとして行われる「体育と防災のつどい」で、今回は新たに「応急担架搬送」と「バケツリレー」を導入しました。

物干し竿と毛布で応急担架を作りダミー人形を搬送する「応急担架搬送」は全ての参加者が上手く担架を作成できるか不安でしたが、日頃の防災訓練はもちろん、本番に備え実施した事前訓練の成果もあり、当日は手に汗握る熱戦が展開されました。（線﨑）

淀川

未来の消防士

10月、宮原小学校４年生の職場見学があった。

「おはようございまーす」と子供たちの元気な声で始まり、各担当の業務内容や消防車の紹介、さらに救助訓練の見学と参加した小学生全員が食い入るように説明を聞いて、現場外套を着て「おもーい」、救助訓練では「スゲー！」と職員に負けない大きな声で歓声を上げていました。

最後にどんな「大人になりたい？」と聞いてみると大きな瞳をキラキラさせながら「消防士！」この答えに初心を思い出し、更なる飛躍を誓った。（片野田）

浪速

消防訓練

9月27日、「南海電気鉄道株式会社」の本社ビルにおいて消防訓練が実施されました。

社員200名が参加し、通報、初期消火、避難誘導の基本的なものにとどまらず、煙体験、ロープ結索、心肺蘇生法、水消火器の訓練と多岐にわたるものでした。

参加されている社員の方々が、どの訓練にも非常に熱心に取り組まれている姿が印象的で、そこから事業所全体として災害に備える意識の高さを強く感じました。（藤森）

東淀川

地域一体となった防災訓練

10月20日、管内の大隅西地域で地域と小学校の合同防災訓練が行われた。訓練は防災リーダーが中心となり多数の住民が参加し、区役所、社会福祉協議会、消防署の各行政機関が協力し、地域一体となって実施された。

今回は、震災想定の避難訓練のほか、近年各地で相次でいる河川氾濫、台風の被害を踏まえた内容を盛り込んだ防災研修が行われ、その後に実施された初期消火などの防災技術訓練とともに熱心に取り組まれ充実したものとなった。（宮本）

西淀川

西淀川自衛消防協議会救命講習会

9月5日、西淀川自衛消防協議会の救命講習会が西淀川区民ホールで開催されました。

合同製鐵㈱の森満隆会長のあいさつに始まり、受講者の皆さんは、真剣な眼差しで熱心に受講され、質疑応答の時間にも質問が絶え間無く続く程、あっという間の3時間でした。

救命講習修了証を住友化学㈱の大橋史奈さんが代表者として受け取っていただきました。

「消防さん、今日はこの講習会に来て勉強になりました。非常に楽しかったです。来て良かった」と受講者から嬉しい言葉をいただきました。（松田）

旭

高齢者防火教室

高齢者防火推進週間にあわせて、旭区老人福祉センターや地域のコミュニティーセンターにおいて「高齢者防火教室」を実施した。

旭区では人口の約３割が 65 歳以上と市内平均を上回り、高齢者の独居世帯も増加傾向にあるため、高齢者宅からの出火防止を重点に啓発に努めた。

特に火災実験は好評で、参加者からは「家に帰ったら早速コンセントの掃除せな！」、「服の袖も危ないなあ！」「３Ｓするよう言うとくわ！」など反響も大きく、高齢者の防火意識向上につながる良いきっかけとなった。（伊敷）

東成

消防署見学

10 月４日東小橋小学校の３年生、４年生が当署の見学に来てくれました。

消防署見学では、まず消防署の１日のお仕事について紹介した映像を見てもらいました。その後、屋外で消防車の見学、水消火器による消火訓練、そして煙テントによる煙体験などを体験してもらい、最後に消防職員による救助訓練を披露しました。

楽しそうに学ぶ小学生達の姿に、職員一同元気をもらいました。（阪峯）

城東

城東区防災訓練実施！

９月７日、「城東区防災訓練」が実施されました。区役所、蒲生中学校、東大阪病院、地域防災リーダー、災害活動支援隊が参加し、相互協力体制の強化が図られました。

初期消火、AED による救命処置、三角巾使用応急手当、担架搬送、煙中体験、可搬式ポンプ操作の各訓練が実施されました。

地域防災力の向上を目的に、各機関が一致団結できた内容の濃い訓練となりました。（小山）

生野

生野まつり

10 月 20 日、巽公園において大阪市コミュニティー協会主催による第 46 回生野まつりが開催されました。区民パレード、模擬店の出店、官公庁の PR 展示コーナー、だんじり、ふとん太鼓の集結など、内容盛り沢山のイベントです。

当署は、消防車の展示と火災予防のパンフレットを配布し、多くの地域住民の方々に火災予防の啓発活動を行いました。

これからも地域イベントへ積極的に参加し、地域住民の方々と交流を図ることで、より円滑な火災予防の啓発活動に繋げていき、安全なまちづくりを目指していきます。（中村）

住之江

あれから1年

昨年、台風21号により、南港出張所は庁舎全体に甚大な被害を受けました。

台風襲来直後から停電し、通常業務ができない中、南港出張所の職員は発電機で簡易照明を使い照明を確保し、執務環境が厳しい中、署員一丸となって任務を全うしました。

現在も継続して、庁舎修繕が進められていますが、あの記憶を忘れることなく、災害時の南港地区最後の砦として職員は勤務しています。(水口)

鶴見

大盛況！鶴見消防フェスティバル

10月6日、鶴見緑地公園内のハナミズキホールにて「鶴見消防フェスティバル」を開催し、なんと5,500人を超える来場者となり、大盛況のうちに幕を閉じました。

オープニングイベントでは、消防ヘリ「なにわ」が上空を旋回するサプライズに会場が湧きました。

ミニミニ消防車乗車体験、消防車及び救急車展示、起震車による地震体験、胸骨圧迫体験、防火防災図画展を開催する等、盛りだくさんの啓発ブースには楽しい笑い声と長蛇の列が出来ました。たくさんのご来場ありがとうございました。(犬塚)

住吉

幼稚園に雷光現着!!

幼少期の防災教育の一環として、10月15日から11月1日まで、管内25か所の幼稚園及び保育所に出向き、新5歳児を対象に幼児防火防災教室を実施しました。

セイバーミライ防災紙芝居では「火事の時は？」「119!!」と元気いっぱいの大きな声。ミニ消防車の写真撮影ではセイバーミライの登場に目を輝かせる園児たちにたくさんの笑顔をもらい、訪問した消防職員も心癒されました。

防災について楽しく学んでもらう良い機会となりました。(畠中)

©TOMY 「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

阿倍野

防災も「亀の甲より年の劫」！

秋にはふさわしくない暑い日和となった9月27日、阿倍野区老人クラブ連合会の防火防災研修会をリニューアルした「阿倍野防災センター（あべのタスカル）」で開催しました。

研修では、視聴覚によるものに加え体験型も経験され、内容に満足された表情を浮かべられて帰路につかれました。

参加者された方からは「改めて考えさせられ、災害時や、いざという時の参考になった」との声をうかがい、人生の先輩方の更なる防災力向上に繋がった充実した一日となりました。(尾﨑)

西成

西成区商店街にぎわい祭り

にぎわい祭りが市内あちらこちらの商店街で開催されるなか、西成区も10月27日天下茶屋駅前のノア・インドアステージにおいて開催されました。

ステージでは寅さん張りの口上で火災予防を啓発し、特に火災を発見した際の「火事だ～」と大きな声で人に伝える重要性を熱く訴えました。

消防に設けられたブースではミニミニ消防車や顔出しパネルで戯れる子どもを見守る家族の笑顔があふれ「天高く馬肥ゆる秋」の日となりました。(髙田)

東住吉

みんなの健康展

10月5日、東住吉区役所の区民ホールにおいて、「みんなの健康展」が開催されました。

予防担当、地域担当、救急隊で市民の方々が健康に過ごしてもらえるように予防救急や心肺蘇生法のブースを設けました。

100個用意した粗品が瞬く間に無くなるほど会場は大盛況でした。親子で心肺蘇生法を体験するなど、普段消防と携わる機会のない方も大勢来られて、とても良い取組みとなりました。(福島)

水上

新しい仲間

この秋、四名の新人消防士が新配置となった。先輩たちから熱い指導を受け、少しでも早く戦力になれるように、毎日の訓練に励んでいる。

当署では、放水等の陸上で行う訓練だけでなく、海上での潜水訓練も行っている。季節に関係なく不慣れな水中で行うので、非常に過酷であり、常に冷静沈着な判断が求められる。その為、強靭な体力と幅広い知識、そして何より強くて熱い気持ちが必要となる。

同期生同士で切磋琢磨しあい、一人前の消防職員を目指して、日々精進してほしい。(山岡)

平野

長吉STRの発隊

10月1日から長吉小型タンク小隊（長吉ST）に救助機能を加えた指定消火隊（長吉STR）が発隊したことに伴う局長訓示式が実施されました。

近年増加する管内の救助事案にいち早く対応するため、4月から半年間にわたる指定消火隊の養成訓練を経て、運用開始となりました。

これからも必要な救助技術と知識の研鑽に努め、大阪市の南東端地域の安全と安心をより強力に守っていこうと隊長以下皆で意気込んでおります。(高稲)

大阪の消防 NEWS

和泉市消防本部

令和元年度「和泉市民健康まつり」が開催されました。

令和元年9月8日（日）令和元年度「和泉市民健康まつり」が開催されました。

当日は約 1,600 人の来場者があり、医師会や歯科医師会、薬剤師会、保健所、消防本部などの関係機関が参加し、すすめよう！第３次健康都市いずみ 21 計画～市民が自分らしくいきいきと暮らせる“健康都市いずみ”をめざして～と題して市民の皆さんに健康についてのイベントを実施しました。

当消防本部では、救急医療週間に合わせて、消防車や救急車の展示、マスコットキャラクターである消防戦隊ケスンジャー、救急戦隊スクイーンとの記念撮影を行いました。又、ＣＰＲ（心肺蘇生法）の必要性や重要性の説明を行い、ＣＰＲ（心肺蘇生法）の実技体験及びＡＥＤ（自動体外式除細動器）の使用方法について体験していただきました。

多くの市民に少しでも心肺蘇生法を知ってもらうことで、救急活動における救命の連鎖の向上を図り、救命率の向上に努めていきたいと考えています。

大東四條畷消防本部

救急現場でのろう者応対研修

大東四條畷消防本部では、令和元年10月１日の辞令交付に併せて大東市障害福祉課の職員（手話通訳士）をお招きして、「救急現場での ろう者応対研修」を開催いたしました。

この研修では、聴覚障害のある方とのコミュニケーションの取り方をはじめ、救急現場などの緊急時における意思疎通の方法や手話について、実技を交え講義を行っていただきました。

この研修において、手話は言語であるとの認識にたち、聞こえないことへの理解と手話の普及を通じて、聴覚障害者と聞こえる市民とが、同じ地域社会の一員として、共に住みやすい社会の実現をめざしていくことの大切さを強く感じさせられました。

また、これからはこの研修で学んだ手話知識を職員一人ひとりが習得し、救急現場をはじめとする災害現場などで実践していくことで市民が安心・安全に暮らせる街づくりへと繋げていき、市民サービスの向上に努めて参りたいと思います。

島本町消防本部

バイスタンダーCPR及び除細動で社会復帰　消防長より感謝状を贈呈

本町では、適切な口頭指導によるバイスタンダーＣＰＲ及び除細動により、心肺停止の傷病者が社会復帰したことでバイスタンダーへ消防長から感謝状を贈呈しました。

４月23日の夕方、自転車で走行中の傷病者が卒倒。目撃した通行人が119番通報し、指令員が通報者へ傷病者の反応及び呼吸状態を聴取したところ死戦期呼吸を確認、胸骨圧迫及びＡＥＤの手配を口頭指導しました。指令員から指示を受けたバイスタンダーが適切な胸骨圧迫を行い、周囲の人に近くの小学校へＡＥＤを借りるよう依頼し除細動が実施され、到着した救急隊が心拍再開及び自発呼吸を確認しました。

通報時点における指令員の適切な口頭指導とバイスタンダーによる一次救命処置（早期除細動・心肺蘇生）が施され心拍再開した傷病者は搬送後、意識も回復し後遺症もなく退院されました。島本町消防本部では、今後も普通救命講習を継続し、応急手当の重要性を住民へ広めて行きたいと思います。

松原市消防本部

高校生ファイアーボランティアを育成！

松原市消防本部では、令和元年度から「高校生ファイアーボランティア育成事業」を実施しています。

この取り組みは、地域の防火防災力向上に大きく期待される若者世代に「自助」と「共助」の重要性を普及拡大させ、自らの住んでいる地域や学校で啓発活動を行い、また災害時に活躍できる高校生ファイアーボランティアを育成しています。

現在、受講登録者は四十四名です。

内容は、初期消火方法などを学ぶ「消防士プログラム」、避難所運営方法などを学ぶ「災害時対策プログラム」、地域の防火防災訓練などに参加し活動する「啓発ボランティアプログラム」の三課目からなり、全てのプログラムを修了すると松原市消防長から修了証が手渡されます。

これからは、元気溢れる高校生ファイアーボランティアとガッチリスクラムを組んで、災害に強いまちづくりにトライしてまいります。

職務 1

令和元年度ＪＩＣＡ救急救助技術研修について

警防課（救助）

ＪＩＣＡ救急救助技術研修とは

この研修は、国際協力事業のひとつとして、独立行政法人国際協力機構（ＪＩＣＡ）と総務省消防庁等が連携・協力し実施している。大阪市消防局では、平成10年度より本研修の指導を行っており、今回で22回目となる。研修対象者は、開発途上国の防災組織に所属する職員で過去に63カ国207名を受け入れている。

今回は、令和元年7月24日（水）から9月27日（金）の間、7カ国8名の研修員（バングラディシュ1名・エジプト2名・ガンビア1名・ジョージア1名・ヨルダン1名・ミャンマー1名・ナウル1名）が受講した。

指導体制

指導隊は、当局の救助隊・救急隊をはじめ府内の各消防本部（堺市消防局、東大阪市消防局、枚方寝屋川消防組合消防本部、豊中市消防局、吹田市消防本部、守口市門真市消防組合消防本部、高槻市消防本部、柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部）から参加していただき、合同での指導を実施している。

研修内容

この研修では、日本の救急救助技術の知識、技術の習得のみならず、「資器材愛護の精神」と「安全管理意識の向上」をテーマに、各研修員が自国において救急救助技術の指導者となれるよう育成・指導している。

また、阿倍野防災センター（あべのタスカル）などの様々な防災関連施設の視察や小学生への防災指導も実施している。

研修時の様子

研修開始当初は、異国での研修、宗教や文化の違う研修員との研修ということもあり、戸惑いながら訓練に臨んでいた研修員ですが、訓練を重ねるごとに研修員相互の理解が深まり、チームビルディングの醸成が図られていきました。

また、日本の規律や呼称も慣れていくにつれて自信と覇気に満ちた動きと呼称になりました。

研修最後に実施する総合訓練（応急手当や外傷アプローチ、交通事故想定訓練、低所事故想定訓練）では、2カ月間の集大成を見事に発揮し、迅速かつ確実、愛護的に要救助者を救出していました。最後には、大阪市消防局の救助隊標識を授与されました。

おわりに

今年の研修は、毎日のように猛暑日が続き、9月に入ってからも残暑の厳しい中での研修となりました。屋外での訓練が多い研修にもかかわらず、自国のためにより多くのことを持ち帰ろうと、研修員は挫けることなく元気に研修に取り組んでいました。

そんな研修員の姿を見て、「災害から国民の生命、身体、財産を守る」という目的は万国共通なのだと改めて感じさせられました。

本研修を通じて交流を深めることにより、国境を越えて助け合いができるような関係を築くことができ、改めて「救助に国境なし」と実感するとともに、本研修を契機に、各研修員が自国において防災組織の発展に寄与されることを確信している。

（文責　烏野）

職務2

予防部めぐり～各担当からの情報発信～

安全安心な祭りを開催するために

予防課（特別査察）

はじめに

毎年8月〝なにわの夏の風物詩〟として大阪の恒例となっている「なにわ淀川花火大会」（以下「花火大会」という。）では、大阪の夜空を2万発以上の芸術的な花火が街を彩り大きな感動を与えるとともに、会場の約500件の屋台が花火大会に訪れた約60万人の市民の心を踊らせました。

大きな事故が起こることなく無事に花火大会を終えることができた背景には、過去に発生した福知山花火大会の事故を教訓に「このような悲劇を二度と起こさない」を合言葉として、運営委員会と消防職員が一体となった露店関係者に対する指導がありました。

福知山花火大会での事故と大阪市火災予防条例の改正

福知山花火大会での事故

2013年8月15日に京都府福知山市で行われた花火大会の開催中に露店で爆発が起こり、死者3名、負傷者59名を出す事故が発生しました。

事故を受けて露店関係者への指導

当局では大阪市火災予防条例の一部が改正され、花火大会等の屋外で大規模な催しのうち1日の人出予想が10万人以上かつ露店等の数が100店舗以上の催しが「指定催し」として位置づけられ、必要な防火管理、露店開設時の届出、火を使用する器具に対する消火器の設置等が義務づけられました。

この改正を受け、指定催しについては、事前に露店関係者に対し火災予防上の指導を行うとともに、現地にて露店に対する立入検査（以下「露店検査」という。）を実施し、露店関係者の中でも実際に露店を営む者（以下「露店商」という。）に対し直接指導を行うことになりました。

花火大会の開催に伴う綿密な事前準備

花火大会の開催に伴い、まずは関係消防署と主催者であるなにわ淀川花火大会運営委員会（以下「運営委員会」という。）が事前に協議し、火災予防上の注意事項をどのように露店商へ徹底していくのかを検討しました。この事前協議に基づき、花火大会当日の露店検査が効率的に進められるよう運営委員会が以下の取組みを行いました。

露店商が所属する大阪神農商業協同組合（以下「神農組合」という。）への事前指導

神農組合内の防火意識を高め、指導をより効果的なものとするため、組合の責任者に対して各露店

商に防火上必要な事項について徹底するよう指導を行いました。

神農組合から念書の提出

火気設備を使用する露店は消火器1個を設置し、それを怠った場合は火気設備を撤去する旨の念書（契約書の一種であり約束事を文書にしたもの）を各露店商が神農組合へ提出することで、消火器が未設置である露店は火気設備が使用できず、実質的な営業が不可能となりました。

露店検査マニュアルの作成

運営委員会と消防局が同じ認識で露店検査を実施するため、露店検査マニュアルを作成しました。

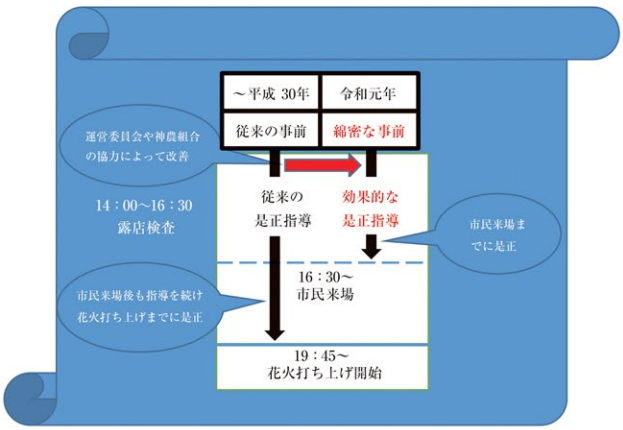
花火大会当日の広報活動

露店検査前に各露店商に対して、消火器を設置するなどの火災予防上必要な事項を繰り返しアナウンスしました。

これらの「綿密な事前準備」を行ったことで、花火大会当日の露店検査が効果的に実施されることになりました。

効果的な是正指導

例年、花火大会の露店検査は、管轄消防署と特別査察隊が合同で実施しています。今年の露店検査は「綿密な事前準備」が功を奏し、露店商の方から「消火器は設置してるで」や「ちゃんと言われた通りやってるよ」など露店検査に対し協力的な声がたくさん聞こえてきました。それでも消火器が設置されていないなど不備のある露店がいくつかあるだろうと想定されたため、早期に違反を是正できる体制として消防局と神農組合の責任者がペアとなり、露店検査や、違反のある露店に対する指導を行う方式をとることにしました。このことによって、指導の際には、「すいません、指導されたことは今すぐ対応します」とすぐに動いてくれました。それでも即時是正への動きを見せない露店に対しては、運営委員会から念書のとおり火気設備の撤去を求めるなど「効果的な是正指導」を行うことにより、すべての違反を市民来場までに是正することができました。



おわりに

福知山市花火大会での事故を受けた当局の指定催しに対する露店検査では、これまでは全露店の是正完了が露店検査時間外に及んでいましたが、今回は設定された露店検査時間内に全ての露店を安全な状態にするという責務を果たすことができました。この要因は、運営委員会と消防局が一体となり「綿密な事前準備」と「効果的な是正指導」を行えたからだと確信しています。

我々査察員は、消防法令違反のある対象物を早く安全な対象物にすることが使命です。そのためには誰に対してどのような手法で指導していくかが重要になります。今回の露店検査を参考に「綿密な事前準備」と「効果的な是正指導」を駆使して、我々の使命を遂行していきたいと思います。

「すべては市民の安全・安心のために」

（文責　井上）

職務3

大阪市火災予防条例の解説(69)

規制課

今月号は、前回に引き続き大阪市火災予防条例第41条について解説する。

〈水噴霧消火設備等に関する基準〉

第41条　次の表の左欄に掲げる防火対象物又はその部分には、水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備のうち、それぞれ当該右欄に掲げるもののいずれかを設けなければならない。

2　前項の規定により無人変電設備のある場所に設ける不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備は、移動式以外のものとし、かつ、自動式起動装置を設けなければならない。

3　前項に規定するもののほか、第1項の規定により設ける水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備は、令第14条から第18条まで及び規則第16条から第21条までの規定の例により設置し、及び維持しなければならない。

防火対象物又はその部分	消火設備
令別表第1に掲げる防火対象物又はその部分のうち、次に掲げるもの (1)吹抜け部分を共有する防火対象物の2以上の階で、駐車の用に供する部分の床面積の合計が200平方メートル以上のもの、当該駐車の用に供する部分 (2)防火対象物の屋上の駐車の用に供する部分で、その床面積が200平方メートル以上のもの	水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロ ゲン化物消火設備又は粉末消火設備
令別表第1各項に掲げる防火対象物のうち、全出力1,000キロワット以上の燃料電池発電設備、変電設備又は内燃機関を原動力とする発電設備のある場所	不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備
令別表第1各項に掲げる防火対象物で、冷凍室又は冷蔵室の部分が床面積の合計500平方メートル以上のものの冷凍室又は冷蔵室の用途に供する部分	不活性ガス消火設備

◆解説及び運用

（第1項の表【上欄左欄】については前回を参照）

1　第1項の表【中欄左欄】

水又は泡を消火剤とする消火設備が適さず、水損による被害が大きいため、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備を設置しなければならないと規定しているものである。

(1)「全出力1，000kW以上の燃料電池発電設備、変電設備又は内燃機関を原動力とする発電設備のある場所」とは、次に定めるものが含まれるものである。

ア　燃料電池発電設備のある

場所として、燃料電池、改質器及び制御装置等並びに当該燃料電池、改質器及び制御装置等と同一の電路に接続される電気機器類を設置している部分

イ　変電設備のある場所として、変圧器及び当該変圧器と同一の電路に接続される電気機器類を設置している部分

ウ　内燃機関を原動力とする発電設備のある場所として、発電機及び当該発電機と同一の電路に接続される電気機器類並びに当該発電機を駆動させるための内燃機関を設置している部分

エ　前記に定めるもののほか、全出力が1，000kW以上の急速充電設備を設置している部分

(2)　燃料電池発電設備、変電設備、発電設備及び急速充電設備の全出力(kW)の算定は、次による。

ア　燃料電池発電設備の全出力(kW)は、燃料電池発電設備のうち、燃料電池の定格出力(kW)の和により得た値とする。ただし、次のいずれかに該当する場合は、当該部分ごとに算定する。

(ｱ)　不燃材料の壁、床、天井又は防火戸（随時開くことができる自動閉鎖装置付のもの又は随時閉鎖することができ、かつ、煙感知器（規則第23条第４項第１号ニに規定する部分にあっては、規則第23条第６項第１号に定める熱感知器）の作動と連動して閉鎖することができるものに限る。）により区画する場合

(ｲ)　同一の室内に燃料電池発電設備を２以上設置する場合で、１の燃料電池発電設備の全出力が1，000kW未満で、かつ、他の燃料電池発電設備との水平距離が10ｍを超える場合、又は10ｍ以下の部分に延焼防止上有効な不燃材料で造られた壁等が存する場合

(ｳ)　防火対象物の屋上部分に燃料電池発電設備を２以上設置する場合で、他の燃料電池発電設備との水平距離が10ｍを超える場合、又は10ｍ以下の部分に延焼防止上有効な不燃材料で造られた壁等が存する場合

イ　変電設備の全出力(kW)は、変電設備を構成する変圧器のうち、電気的に最も引き込み口に近い位置にある変圧器の定格容量(kVA)の和に定数(0.8)を乗じて得た値と推定するほか、前ア(ｱ)から(ｳ)までの例により算定する。

ウ　内燃機関を原動力とする発電設備の全出力(kW)は、内燃機関を原動力とする発電設備のうち、発電機の定格出力(kW)の和により得た値とするほか、前ア(ｱ)から(ｳ)までの例により算定する。

エ　急速充電設備の全出力(kW)は、急速充電設備のうち急速充電器の定格出力(kW)の和により得た値とするほか、前ア(ｱ)から(ｳ)までの例により算定する。

オ　蓄電池設備の容量(Ah)・(ｾﾙ)は、単位電槽(ｾﾙ)の定格容量(Ah)ごとにそれぞれの電槽数(ｾﾙ)を乗じて得た値の和により得た値とするほか、前ア(ｱ)から(ｳ)までの例により算定する。

2　第１項の表【下欄左欄】

冷凍室又は冷蔵室の用途に供する部分は、特殊な構造による消火困難性から、また当該部分の最適な消火設備として不活性ガス消火設備を設置しなければならないと規定している。なお、「冷蔵室」とは、常時10℃以下に保たれるものをいうものである。一の防火対象物内に、冷凍室又は冷蔵室の用途に供する部分が複数分散して存する場合の床面積は、当該部分の床面積を合算して算定する。

（文責　松村）

今月のテーマ

危険物保安監督者について
～昇任試験対策編～

キセイカナビ vol.74
From 予防部規制課

皆さん、こんにちは！

今回のテーマは、危険物施設のうち危険性の高い施設などの安全確保を図るため、一定の資格を有する危険物取扱者の中から、危険物の取扱い作業の保安の監督を行う『危険物保安監督者』について勉強していきましょう。

問　題

危政令第31条の２に規定する「危険物保安監督者を定めなければならない製造所等」の記述について、次の（　①　）～（　⑩　）にあてはまる適切な語句又は数値を記入して下さい。

第31条の２　消防法第13条第１項の政令で定める製造所、貯蔵所又は取扱所は、製造所等のうち次に掲げるもの以外のものとする。

（１）（　①　）又は（　②　）で、指定数量の倍数が（　③　）以下のもの（引火点が（　④　）度以上の第４類の危険物のみを貯蔵し、又は取り扱うものに限る。）
（２）引火点が（　④　）度以上の第４類の危険物のみを貯蔵し、又は取り扱う（　⑤　）又は（　⑥　）
（３）（　⑦　）
（４）指定数量の倍数が（　③　）以下の（　⑧　）
（５）引火点が（　④　）度以上の第４類のみを取り扱う（　⑨　）又は（　⑩　）
（６）指定数量の倍数が（　③　）以下の一般取扱所（引火点が（　④　）度以上の第４類の危険物のみを取り扱うものに限る。）で次に掲げるもの
　イ　ボイラー、バーナーその他これらに類する装置で危険物を消費するもの
　ロ　危険物を容器に詰め替えるもの

解　答

①　屋内貯蔵所	②　地下タンク貯蔵所	③　30	④　40
⑤　屋内タンク貯蔵所	⑥　簡易タンク貯蔵所	⑦　移動タンク貯蔵所	⑧　屋外貯蔵所
⑨　第１種販売取扱所	⑩　第２種販売取扱所		

過去昇任試験で出題あり！

※参考　危険物保安監督者の資格及び選任等（消防法第13条第１項、第２項）

１　政令で定める製造所、貯蔵所又は取扱所の所有者、管理者又は占有者は、甲種危険物取扱者（甲種危険物取扱者免状の交付を受けている者をいう。以下同じ。）又は乙種危険物取扱者（乙種危険物取扱者免状の交付を受けている者をいう。以下同じ。）で六月以上危険物取扱いの実務経験を有するもののうちから危険物保安監督者を定め、総務省令で定めるところにより、その者が取り扱うことができる危険物の取扱作業に関して保安の監督をさせなければならない。

２　製造所、貯蔵所又は取扱所の所有者、管理者又は占有者は、前項の規定により危険物保安監督者を定めたときは、遅滞なくその旨を市町村長等に届け出なければならない。これを解任したときも、同様とする。

ご意見・ご質問は予防部規制課まで　✉ pa0032@city.osaka.lg.jp

大阪市消防局 災害活動支援隊

総務課
警防課

窪田　宜邦
参集署　（東淀川）
平成29年3月退職

1 消防に入るきっかけ

高校まで鹿児島県の離島で育ちました。自身の将来について漠然と考えていたところ、たまたま大阪消防の募集が目に留まり、叔父から公務員になるよう強く勧められていたこと、また試験会場が鹿児島本島で行われるということで旅行気分もあり受験することに決めました。運よく合格することができ、厳しい消防という仕事に就く不安というよりも、当時は都会生活への憧れの方が大きかったように思います。

2 消防士になって

昭和50年4月、初任科第86期生として城東区鴫野の消防学校の門をくぐりました。当時の校舎は木造の2階建で、翌年度からは東大阪市への移転も決まっており、かなり老朽化が進んでいました。鴫野の消防学校では教官の厳しい指導のもと、沢山のことを学ばせて頂きました。半年の初任科研修が終わり、振り出しは水上署。当時は体力強化として各種競技大会や練成会が盛んな時代でした。水上署では海上安全を守る特殊な業務内容から水泳には特に力を入れており、基礎体力も出来ていない私はここで7年間鍛えられ、近畿地区救助技術指導会（水上の部）に選抜されるようになり、心身共に育てて頂いたと思っています。

3 救助隊として

その後、消防士長に昇任、東署（現中央署）では救助隊として6年間勤務させて頂きました。ここでは警防計画の作成事務を担当、事前計画の重要性と業務の進め方のノウハウを学ばせて頂きました。消防司令補に昇任した後は西成署で勤務。引き続き、救助隊として数々の貴重な体験を積むことが出来ました。当時の西成区は今以上に狭隘道路が多く、時には救助隊車の進入が阻まれ、発生場所によっては幹線道路に停車した後、重い資器材を担いで数百メートル先まで必死に走るということもあり、出場経路の選択については大変神経を使いました。西成署では2年間の勤務の後、平成2年10月1日に方面隊異動となりましたが、異動の翌日（2日）に「第22次西成暴動」が発生、当時の仲間たちと一緒に活動に携われなかった自身を歯がゆく思ったものでした。

4 方面隊、消防学校で

方面隊は消防司令補と消防司令の時に勤務させて頂いています。方面隊では大阪市内の行政区ごとに特徴ある数々の災害事案を経験させて頂き、その経験した内容を各署の巡回研修のプレゼンテーションで活用させて貰いました。消防学校では主に「初任科教育」と「専科救助課程」を担当し、どのように正しく相手に伝えるか、どうしたら相手に理解して貰えるか、ということについて学ばせて頂いたと思っています。

5 火災現場で

中隊指揮者として出場した商店街の中にある木造の店舗火災。上階の床が崩れ落ち、隊員が一時的に建物内に取り残されるという事案がありました。長時間の放水により2階の畳が水を含み梁が外れ、突然、床ごと1階に落下したのです。結果的には負傷者も発生せず、隊員も自ら脱出することが出来ましたが、指揮者として情報の収集とフィードバックの大切さ、活動に伴う安全管理の徹底について再認識させられた火災現場でした。商店街にある店舗等は正面がパラペットなどで綺麗に装飾されていても内部は老朽化していることが多いので、特に注意が必要です。

6 健康への留意と感謝

若い頃、ある先輩から「わが道を行けば、険しい道も楽しい。困難な場面に遭遇しても立ち向かえば必ず楽しめる。」ということを教わりました。挑戦するため必要なものは、まず体力と気力。今でも仕事帰りには健康維持のため必ずプールに立ち寄り、水泳で鍛えています。最後になりますが、42年間の消防生活の中で大阪消防に育てて頂いたという感謝の気持ちで一杯です。この紙面をお借りし、皆様方に深く感謝申し上げます。

vol.173

健康ダイアリー

企画部 人事課

シリーズ ～がん～ Vol.3
「肺がん」

肺がんは、日本人のがんの死因の第１位で、国立がんセンターによると、2018年の肺がんの死亡者数は約77,500人です。男女別肺がんの死亡者数は、男性は女性の2.6倍です。

年齢別の罹患率は40歳代後半から増加し始め、高齢になるほど高くなります。

要　因

喫煙との関連が非常に大きく、喫煙者が肺がんになるリスクは男性で4.4倍、女性で2.8倍と高くなります。非喫煙者でも、周囲に流れるたばこの煙を吸うこと（受動喫煙）により発症する危険性が高まっています。

喫煙以外では、慢性閉塞性肺疾患、アスベスト等の有害化学物質に晒される、大気汚染等が発症する危険性を高めると考えられています。

症　状

早期ではほぼ無症状で、病状の進行とともに、咳、痰、血痰、発熱、呼吸困難、胸痛等の呼吸器症状があるが、肺がん特有のものではないので、他の呼吸器疾患と区別がつかないこともあります。

検　査

胸部レントゲン・胸部ＣＴ　⇒　病変の有無、場所を調べます。

気管支鏡検査・経皮針生検　⇒　確定診断のため、肺がんが疑われる部位から細胞や組織を採取。

治　療

手術療法：早期であれば胸腔鏡手術も広く行われるようになり、肺の切除も切る部分を限局して、肺機能が温存できるようになっています。

化学療法：①　抗がん剤

②　分子標的薬：ターゲットとなる遺伝子にピンポイントで作用し、正常な細胞に作用しないので副作用が少なくなっています。

③　免疫療法剤

放射線療法：定位放射線治療は、がん細胞だけに集中して照射でき、正常な細胞へのダメージが少なくなっています。

予　防

喫煙は肺がんとの関連が非常に大きいので、喫煙者は禁煙し、非喫煙者はたばこの煙を避けましょう。

喫煙者の方は、年に一度のがん検診をお勧めします。

親睦会だより

大阪市消防職員親睦会

クラブ紹介 綱引きクラブ

シンプルで奥が深い、綱引というスポーツ

はじめに

皆さんも幼少期に一度は運動会などで「オーエス！」と綱を引っ張り合った経験はありませんか？そんな「綱引」…実は1920年までは伝統あるオリンピック競技であったことをご存じでしょうか？

ルールはとてもシンプル。体重別8人制で自陣に4m引いた方が勝ち。たかが4mと思われたかもしれませんが、この4mを引ききるまでには熱いドラマがあります。8人が同時に綱を引きお互いが全力で圧力を掛け合い、どちらかが力尽きるまでの根比べ。そこには様々な駆け引きがあり、戦略があります。一人一人がバラバラに力任せに引いてみても綱には力が伝わらず、チームの息を合わせることが重要となります。シンプルですが、とても奥が深いスポーツです。

活動内容

我々、大阪市消防局綱引クラブ（O.M.F.D）は毎年3月に東京で開催される全日本綱引選手権大会への出場を目指し、練習に励んでいます。今年の3月には全日本綱引選手権大会の特別予選会に大阪府の代表として出場し、結果は1勝3敗で残念ながら本選への出場は逃してしまい悔しい思いをしました。しかし、本大会では、消防の綱引チームの活躍が目立ち、神戸市消防局がベスト8、金沢市消防局がベスト4、そして関西の消防では初となる京都市消防局が悲願の優勝を成し遂げ、来年の2月に行われる世界大会への切符を手にしました。

2019 全日本綱引選手権大会

我々綱引クラブも、他都市の消防局の活躍に刺激され日々、高度専門教育訓練センターや城東消防署、福島消防署の講堂を借りて、平日の10時半頃～12時頃までの間チームの皆で楽しく有意義な練習をしています。綱引には消防吏員として必要なトレーニングが兼ね備わっており、体幹はもちろんのこと、消防に必要とされる引く力、ここぞとばかりの踏ん張る力、精神力、忍耐力といったものが自然と身に付いていきます。非番日に暇を持て余している方、筋トレ好きな方、何か新しいことに挑戦したいと思っている方、少しでも綱引に興味を持っていただいた方は、気軽に綱引クラブの練習に一度参加していただいて綱引を体感してみて下さい。部員一同いつでも大歓迎でお待ちしております。私たちと一緒にチーム一丸となって綱を全力で引ききる達成感を味わってみましょう。

大会開催案内

来年の1月17日には2年毎に行われている近畿消防綱引大会を、大阪市消防局主催で執り行うこととなりました。綱引初心者の方でも構いませんので、参加してみたいと思われた方は各所属や同期生等を誘って是非参加してみて下さい。

（西成消防署　三﨑　剛）
（福島消防署　西垣　翔悟）

大阪めぐり　表紙絵

通天閣（新世界界隈）

明治45年（1912年）、新世界のシンボルとして凱旋門をモチーフにしたビルの上に、エッフェル塔を模した鉄塔が建てられた。高さ64mで当時東洋一の高さを誇っていた。「天に通じる高い建物」という意味で、明治初期の儒学者・藤沢南岳により「通天閣」と命名された。その後、火災により解体されたが、昭和31年（1956年）に市民の要請を受けて再建された。高さは103mで、展望塔として世界初の免震工事（1994～1996年）が約９億円を投じて行われたが、東日本大震災の翌年に耐震診断を実施し、「展望台を支える鉄骨がゆがむ可能性がある」と診断されて、「地震発生時の来場者の安全・安心を考えて、揺れを抑える効果で勝る免震が良い」と社長が判断して、2014年～2015年に免震化工事が実施された。

通天閣の周辺に、ルナパーク（遊園地）が作られて、大変賑わっていた園内に当時世界的に流行していたビリケン像（足の裏をなでると幸運が訪れるという神）をビリケン堂に安置されたのが始まりで、現在５階展望台に安置されているビリケン像は３代目となる。

塔頂部の丸いネオンは翌日の天気予報で（白＝晴、オレンジ＝曇、青＝雨、ピンク＝雪）、日本気象協会関西支社と専用回路で結ばれており、雪（ピンク）を見たことがない。

また、大時計も60周年の改修工事に伴い改修されてデジタル時計となり、盤面もLEDの動画ビジョンに変更されて、２か月ごとに模様が変わり11～12月は「星」が表示されている。塔全体のLEDも６色から12色に変わって、毎月色が変わるようになり、11月はパープル（コスモス）、12月はエメラルドグリーン（もみの木）が夜空に輝いている。

編集室

先日、パソコンをいじりながらテレビを点けていると、コーヒーは肌の若返りと、老化防止に効果があると流れてきた。

いつものことながら、集中して聞いてない物だから深煎りのコーヒーが脳の老化防止に効果があり、浅煎りのコーヒーが肌の若返り効果があると覚えていたのだが、その際に言われていたグリコーゲン酸とニコチン酸の効能についてはあやふやだったので、後日調べてみると専門用語が並んでいてチンプンカンプン。コーヒーの項目を調べてみると、クロロゲン酸類を始め、豊富な抗酸化物質が含まれており、肌の張りをよくして老化を防止する効果がある。と書かれており納得はしたのだが……。ボケ防止については良く判らずじまい。

何れにしても「過ぎたるは及ばざるがごとし」で、専門家の話では、一日に３～４杯が適量という事で、何となく深煎りのコーヒーを飲んでいるが、漢字が思い浮かばなかったり、物や人の名前がすっと言えずにもどかしい事が多くなった。

神無月足場軽やかに組みあがる　（髙）

先日、電車に乗って何気に前の席をみると、老若男女10人位が全員スマホに見入っていた。機能の進化は凄まじい。通信、ネット、ゲーム、動画、カメラetc…最近のお気に入りは、聞き逃したラジオが聞けるアプリ。深夜放送で音楽をはじめいろんな文化を吸収した世代なので、ラジオには思い入れが。ふと、AIの傑作鉄腕アトムが緊急事態で近くの家の黒電話を借りて連絡するシーンを思い出した。手塚先生も通信機器の進化は想定以上だったのか。　（隆）

間もなく「今年の漢字」が発表される。昨年は「災」であった。一年間を総括する漢字が「災」になるとは、ちょっと悲しい気持ちになったのを憶えている。今年を振り返ると、昨年と同様に自然災害に泣かされた年であり、また、仕事柄憶えているのが京都で発生した悲惨な火災やパリの大聖堂の火災である。元号も平成から令和に変わり、ラグビーでも連日盛り上がっていた。ポジティブな漢字になってほしいと思っています。　（正）

大阪消防

令和元年12月号　第70巻第12号　通巻第837号
発　　行　大阪消防清風会
企画・監修　大阪市消防局
編　　集　大阪市消防局企画部企画課内
大阪消防編集部
〒550-8568 大阪市西区九条南1-12-54
ＴＥＬ　06-4393-6036
ＦＡＸ　06-6582-2864
Eメール　taka-yamano@city.osaka.lg.jp
年間購読料　年間 4,560 円
（消費税・送本手数料含む）
制作・販売　株式会社サイネックス

※本誌に掲載されている内容の転載、転用を希望される時は、編集部までご連絡ください。

大阪消防年間索引　2019年

職務

【行事写真】　編集部　月号　頁

消防局長歳末視察……一……13
第６回大阪府下警防技術指導会……一……14
大阪市消防出初式……二……2
文化財防火デー消防総合訓練……二……2
大阪市消防局震災総合訓練……三……3
海外出張辞令交付……三……3
春の火災予防運動オープニングイベント……四……2
２０１８年度関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練……四……3
職員提案制度・はなまる活動表彰制度に係る事例発表及び市長表彰式……四……3
ＩＲＴ24時間実践型シミュレーション訓練……四……4
退職辞令……五……2
初任教育実科査閲・修業式・新任教育生辞令交付式・初任教育入校式……五……3
こどもカーニバル……六……2
阿倍野防災センター　リニューアルオープン……六……3
危険物安全週間……七……2
Ｇ20大阪サミットに伴う危険物積載車両一斉取締……七……2
警防技術練成会……七……3
Ｇ20大阪サミット　消防特別警戒……八……2
大和川水防訓練・消防救助技術近畿地区指導会　強化訓練局長視察・救急救命技術研修会……八……3
第48回消防救助技術近畿地区指導会……九……2
危険物等積載車両一斉取締り・緊急消防援助隊初動活動訓練……九……4
第48回全国消防救助技術大会・令和元年度大阪市総合防災訓練・全国優良消防職員表彰式……十……2
初任教育実科査閲　初任教育修業式・新任教育生辞令交付式・初任教育入校式……十一……4
チャレンジラリー２０１９・シルバーエイジ　ファイアーイベント……十一……5
秋の火災予防運動　オープニングイベント……十二……2
消防救助技術練成会……十二……3

【ことのは】

年頭にあたって……城戸　秀行……一……1
旭建睦会……山野　功……二……1
雑感……於勢　二郎……三……1
大阪の安全・安心のために……山下　雅也……四……1
チームビルディング……奥中　忍……五……1
企業住民としての自衛消防隊……岩崎　雅明……六……1
問合い……田島　康男……七……1
感性を豊かに……杉田　公伸……八……1
情報公開について思うこと……西野まゆみ……九……1
グローバル化と防災……宮崎　耕司……十……1
人材育成、現在……辻本　育広……十一……1
新しいタイプの百貨店を目指して……上田　尚義……十二……1

【特集】

２０１９　大阪市消防局　期待の星……一……2
２０１９　大阪府内　消防局・消防本部　期待の星……一……7
消防局長年頭訓示……二……6
令和の新戦力　大阪府立消防学校　第１０６回初任教育……七……14
令和元年度　警防技術練成会……八……38
第48回消防救助技術近畿地区指導会　出場隊員コメント……十……34
第48回全国消防救助技術大会　出場隊員コメント……十一……32
令和の新戦力　大阪府立消防学校　第１０７回初任教育……十二……20

【職務［一般］】

平成30年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練　大阪府大隊……司令課……二……34
第21回全国消防救助シンポジウム……警防課……二……41
第66回消防職員意見発表会……高度専門教育訓練センター……三……14
市会のしくみについて……総務課……三……32
第６回大阪府下救助シンポジウム……警防課……三……36
消防職員警防訓練基本計画に基づく訓練の上半期の実施結果について……警防課……三……40
消防局運営方針について……企画課……四……33
模擬家屋訓練施設について……警防課……四……37
愛称「あべのタスカル」阿倍野防災センター　予防課……五……31
平成30年度国際消防救助隊員研修「第Ⅳ期」24時間実践的耐久訓練……警防課……五……32
平成31年度大阪市消防局重点事務事業説明について……企画課……六……30
化学剤遠隔検知装置……警防課……六……37
住宅火災の現状と「火の用心アプリ」リニューアルについて　予防課……六……39
震災対策消防計画・風水害警防計画の改正について……警防課……七……36
平成30年中の規制対象物における火災発生状況（1）……予防課……七……38
情報公開制度と個人情報保護制度について　総務課……八……33
平成30年中の規制対象物における火災発生状況（2）……予防課……八……34
15年が経過した非医療従事者によるＡＥＤ使用……救急課……九……33
無人航空機（ドローン）……警防課……九……35
平成30年中の規制対象物における火災発生状況（3）……予防課……九……36
教養資材の貸出について……規制課……十……33
ＳＴＲ「セーフティーネット・レスキュー」について……警防課……十……43
25年が経過した応急手当の普及啓発は実を結んでいるのか…救急課……十一……31
令和元年度ＪＩＣＡ救急救助技術研修について……警防課……十二……36

【調査鑑識レポート】　調査鑑識

トラッキング火災について……一……26
平成30年度消防防災科学技術賞の受賞について（1）……二……18
平成30年度消防防災科学技術賞の受賞について（2）……三……20
火災調査書類等に対する照会回答について……四……16
火災調査研究講演会について……五……16
平成30年の火災状況について……六……16
平成30年の火災の未定義事案について……七……24
平成31年度日本火災学会研究発表会について（1）……八……16
平成31年度日本火災学会研究発表会について（2）……九……16
第１０６回初任教育に係る講師派遣……十……16
令和元年度　大阪市火災調査事例発表会（1）……十一……18
令和元年度　大阪市火災調査事例発表会（2）……十二……16

【コマンドアイ】　司令課・方面隊・救急課

救急事案（ＰＡ連携）から第一出場火災に発展した火災事例……一……24
大量の煙噴出事案！……二……16
○○管内火災受信中！……四……14
現場観察能力の向上……五……14
平成30年消火活動分析結果からみた初期無線の重要性について……六……14
平成の大火を紐解く～安全管理編（前編）～……七……22
平成の大火を紐解く～安全管理編（後編）～……八……14
緊急消防援助隊　大阪府土砂・風水害機動支援部隊……九……14
Ｇ20大阪サミット警戒時における指令送受信端末装置Ｄ-Ｆｉｇｈｔｅｒの活用について……十……14
火災現場における連携力の重要性……十一……16
他の警防活動に優先して……十二……14

【ＲＥＳＣＵＥ　ＶＯＩＣＥ　Ⅱ】　警防課（救助）

～酸欠空間からの救出～（№12）……二……20
～土砂埋没救助事案～（№13）……四……18
～出火建物の樋にしがみつく要救助者の救出～（№14）……六……18
救出～（№15）……八……18
～初期情報での判断～（№16）……十……18

【そやねん！　教育訓練センター】　高度専門教育訓練センター

こんにちは。高度専門教育訓練センターです。……三……43
〃……四……43
〃……五……39
～木造火災における救助隊・消火隊の連携～（№17）……十二……18

【予防部めぐり】　予防課・規制課

予防部特別査察隊創設10年……二……36
規制事務に係る教養資料等の掲載について……三……35
予防課調査鑑識の紹介……四……39
放置ボンベ撲滅の取組について……五……35
令和元年度「危険物安全週間」～各署の取り組みについて～……八……37
防火管理等講習のＷＥＢ申し込みについて……九……40
自家発電設備の点検について……十……41
実践型防火防災研修　市民消防教室とは……十一……41
安全安心な祭りを開催するために……十二……38

【大阪市火災予防条例の解説】　規制課

大阪市火災予防条例の解説（64）……三……38
大阪市火災予防条例の解説（65）……四……40
大阪市火災予防条例の解説（66）……五……36
大阪市火災予防条例の解説（67）……七……42
大阪市火災予防条例の解説（68）……九……38
大阪市火災予防条例の解説（69）……十二……40

【キセイカ☆ナビ】　規制課

高圧ガス保安法「保安教育」について……一……38
適用除外について……三……42
高圧ガス保安法「保安統括者、保安技術管理者及び保安係員」について……四……35
消防法施行令、消防法施行規則　消防用設備等の設置及び技術上の基準について……五……40
屋内貯蔵所の技術上の基準について……七……44
高圧ガスの定義……八……41
消防法施行令、消防法施行規則　消防用設備等の設置及び技術上の基準について……九……43
危険物保安監督者について……十二……42

【大阪市の災害概況】　警防課

平成30年11月中概況……一……12
平成30年12月中概況……二……5
1月中概況……三……5
2月中概況……四……13
3月中概況……五……5
4月中概況……六……4
5月中概況……七……4
6月中概況……八……4
7月中概況……九……13
8月中概況……十……13
9月中概況……十一……7
10月中概況……十二……5

大阪消防年間索引　2019年

こんにちは。高度専門教育訓練センターです。……六……40
〃……七……41
〃……九……42
〃……十……39
〃……十一……35
【健康ダイアリー】　人事課
～冬に多い突然死とは～……一……41
新型タバコだから大丈夫？……二……45
栄養成分表示……三……46
今年から、がん検診を！……四……46
6月病……五……42
ストレスチェック制度を活用しましょう！……六……42
定期健康診断……七……45
目のトラブル！原因と対策……八……43
シリーズ～がん～Ｖｏｌ．1「舌がん」……九……46
シリーズ～がん～Ｖｏｌ．2「食道がん」（№1　早く見つけよう）……十……46
シリーズ～がん～Ｖｏｌ．2「食道がん」（№2　検査・早期治療）……十一……44
シリーズ～がん～Ｖｏｌ．3「肺がん」……十二……44
【大阪府下消防長会】
第６回大阪府下警防技術指導会……二……38
【救急安心センターおおさかだより】
救急課……一……12　救急課……二……5
救急課……三……5　救急課……四……13
救急課……五……5　救急課……六……4
救急課……七……4　救急課……八……4
救急課……九……13　救急課……十……13
救急課……十一……7　救急課……十二……5

一般

月号　頁

【いらっしゃい、大阪消防です！】
「三好　正豊さんを訪ねて」……一……16
「二村　知子さんを訪ねて」……二……8
「江藤　國雄さんを訪ねて」……三……6
「清水　一二さんを訪ねて」……四……6
「清水　福蔵さんを訪ねて」……五……6
「宮下賢次郎さんを訪ねて」……六……6
「多賀井正夫さんを訪ねて」……七……6
「篠田　初さんを訪ねて」……八……6
「原　克文さんを訪ねて」……九……6
「中村　亨さんを訪ねて」……十……6
「西口　邦夫さんを訪ねて」……十一……8
「宮川　真一さんを訪ねて」……十二……6
【ニュース・カプセル】　コラムニスト　藤井　英一　イラスト　山田いつか
節目の正月……一……19
バレンタインデー……二……11
古希ジュリー……三……9
桃尻教祖、橋本治さん……四……9
今年限定10連休……五……9
自伝の人間学……六……9
センセイ、猪突猛進……七……9
毛沢東、劉少奇の書……八……9
引っ越し20回超……九……9
ベルリン、パリ、北京……十……9
お見事！「はやぶさ２」……十一……9
〝黒い呪術師〟の心……十二……9
【平成ものがたり】　コラムニスト　早稲田　政一
21年（２００９年）……一……20
23年（２０１１年）……二……12
27年（２０１５年）……三……10
31年（２０１９年）……四……10
【プロ・消防士の条件】　福田　悟志
現場で求められる全身持久力は……五……10
全身持久力を強化する……六……10
暑熱順化訓練……七……10
トレーニングの最大公約数　体幹部……八……10
やはり、体幹部の強化が重要……九……10
パフォーマンスとオーバートレーニング……十……10
消防士は、アメリカではヒーローです……十一……12
リカバリーテクニックで、コンディションを保つ。……十二……10
【レスキューナースからのメッセージ】　辻　直美
消防が取り組んでいる事を、もっと市民に　アピールして身近な存在に！……一……22
元消防士・救命士が手がけている【East Aid】……二……14
地下トンネルが導水管となって、水害は拡大していく……三……12
防災リーダーを若い世代に！……四……12
新年度が始まりました。……五……12
「話す」「伝える」「伝わる」。……六……12
「話す」「伝える」「伝わる」。(2)……七……12
勤務外で、災害現場に遭遇すれば……八……12
自らの命は自らが守る……九……12
「自己判断」「自己責任」を念頭に行動を‼……十……12
台風19号上陸……十一……14
計算式だけでは想定できない災害が……十二……12
【楽楽大阪弁万葉講座】　中村　博
（第一回）変わらんもんは親の愛……一……28
（第二回）子供亡くした親の気は……二……22
（第三回）ユーモアあって人生や……三……22
（第四回）落語家なんかに負けへんで……四……22
（特別編）新元号「令和」に寄せて……五……18
（第五回）日本一は富士の山……六……20
（第六回）百薬の長　それ酒や……七……26
（第七回）七夕はんは　可哀そう……八……22
（第八回）秋が来たんや　わびしいで……九……22
（第九回）うちのが思い　深いで皇子様……十……22
（第十回）三角関係　その昔から……十一……20
（第十一回）焼けぼっくいに　火が点くか……十二……25
【災害活動支援隊】　総務課・警防課
新年のごあいさつ……谷口　光行……一……40
消防人生を振り返って……本田　義博……二……23
消防人生を振り返って……奥田　恒俊……三……45
〃……小路　清隆……九……45
〃……香村　圭一……十一……43
〃……窪田　宜邦……十二……43
【大阪の消防ＮＥＷＳ】　大阪府下消防局・消防本部
箕面市・八尾市・富田林市・岸和田市……一……36
摂津市・交野市・河内長野市・泉州南消防組合泉州南広域……二……32
堺市・貝塚市・茨木市・高槻市……三……30
吹田市・枚方寝屋川消防組合・大阪狭山市・泉大津市……四……30
池田市・松原市・和泉市・守口市門真市消防組合……五……28
柏原羽曳野藤井寺消防組合・大東四條畷・島本町・忠岡町……六……28
東大阪市・富田林市・豊中市・岸和田市……七……34
摂津市・泉州南消防組合泉州南広域・八尾市・箕面市……八……30
高槻市・交野市・河内長野市・貝塚市……九……30
枚方寝屋川消防組合・堺市・茨木市・大阪狭山市……十……30
吹田市・池田市・守口市門真市消防組合・泉大津市大東四條畷・和泉市・松原市・島本町……十一……28
【環状線】
各所属……一……29　各所属……二……24
各所属……三……23　各所属……四……23
各所属……五……19　各所属……六……21
各所属……七……27　各所属……八……23
各所属……九……23　各所属……十……23
各所属……十一……21　各所属……十二……27
【叙勲】　総務課
高齢者叙勲……一……43
秋の叙勲……六……44
春の叙勲……七……46
【表彰】　人事課
功績表彰……一……46
功績表彰……二……46
功績表彰……三……45
功績表彰……六……44
功績表彰……八……44
功績表彰……十一……46
【その他】
環状線番外編　つながる奇跡、「救命の連鎖」……中央消防署……二……31
お知らせ　消防防災科学技術賞２０１９　作品募集……四……42
お知らせ　Ｇ20大阪サミット交通規制……五……26
大阪の消防ＮＥＷＳ　番外編　職員提案制度、はなまる活動表彰制度に係る事例発表及び市長表彰式……五……44
お知らせ　令和元年度危険物安全週間……六……47
新庁舎紹介　東淀川消防署、小松出張所……七……20
新庁舎紹介　浪速消防署　立葉出張所……七……21
入校から、４カ月！　大阪府立消防学校第１０６回初任教育生……八……21
大阪府立消防学校　初任教育生はラストスパート……九……21
大阪府立消防学校　第１０６回初任教育生～実科査閲・修業式に向けて～……十……21
令和元年度「消防局・職場活性化推進事例発表会」……十一……36
平成31年（令和元年）索引……十一……47
【自衛消防隊紹介】
都島区……一……39　中央区……二……44
住之江区……三……44　此花区……四……45
西淀川区……五……41　天王寺区……六……41
住吉区……七……19　西区……八……42
東住吉区……九……44　生野区……十……44
淀川区……十一……42　港区……十二……26
【女性防火クラブだより】
天王寺区……一……39　平野区……二……44
阿倍野区……三……44　東淀川区……四……45
此花区……五……41　港区（水上）……六……41
港区……七……19　西淀川区……八……42
大正区……九……44　東成区……十……44
東住吉区……十一……42　都島区……十二……26
【親睦会だより】　大阪市消防職員親睦会
クラブ紹介「囲碁将棋クラブ」……一……42
親睦会ソフトボール大会結果……三……47
親睦会卓球大会結果・クラブ紹介「柔道クラブ」……四……47
親睦会マラソン大会結果……五……43
クラブ紹介「陸上部」……六……43
親睦会フットサル大会結果……八……46
親睦会硬式テニス大会結果……九……47
親睦会水泳大会結果……十……47
親睦会ボウリング大会結果……十一……44
クラブ紹介「綱引きクラブ」……十二……45
【表紙】　大阪めぐり
住吉大社……一
大阪市消防出初式……二
大阪城梅林……三
梅田スカイビル……四
大阪市立長居植物園……五
大阪市営中之島公園・バラ園……六
住吉大社（御田植神事）……七
咲くやこの花館・鶴見緑地内……八
大阪市中央公会堂……九
雪鯨橋……十
大阪市立科学館……十一
通天閣（新世界界隈）……十二

ご愛読者の皆様へ

大阪消防編集部からお知らせ

毎月、ご愛読頂きまして有難うございます。

本誌は、令和元年5月号から令和2年4月号までの年間購読という事で発行しておりますが、途中から購読希望のお問い合わせが、数多く参りまして喜んでおります。つきましては、購読希望の方がおられましたら「大阪消防」編集部までご一報頂きますれば幸甚に存じます。

なお、購読中止のご連絡がございますまで、自動的に購読の継続をさせて頂きます。購読を中止される方は、**3月31日まで**に下記編集部までお手数ですがご連絡下さいますようお願い致します。

また、バックナンバー等、1冊からご購入頂けますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

年間購読料を納めて頂きますので、途中月の購読中止時につきましても、購読料の返戻金はございません。

大阪市消防局 企画部企画課 大阪消防編集部

TEL: 06-4393-6036 Eメール: taka-yamano@city.osaka.lg.jp

〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54

防災講演会 2020

「必ずくる震災で大阪を終わらせないために。」

お知らせ

入場無料
（事前申込制）

定員になり次第締め切らせていただきます

令和 2 年 2 月 3 日（月）14 時 00 分 ～ 16 時 00 分

〔主催〕(一財)大阪消防振興協会・大阪市立阿倍野防災センター

〔後援〕大阪市・大阪府下消防長会

場　所

「ヴィアーレ大阪」4階 ヴィアーレホール

大阪市中央区安土町３－１－３（06-4705-2411）

地下鉄御堂筋線「本町駅」③出口から東へ徒歩3分

講　師

名古屋大学減災連携研究センター長・教授

あいち・なごや強靭化共創センター長

福和　伸夫（ふくわ　のぶお）

申込先

メール：kyokai@ossk. or. jp

ファックス：06-6459-1458

お問い合せ

(一財)大阪消防振興協会　総務課

電話：06-6459-1451